ますむら・ひろし作品集［二］

アタゴオル物語 2

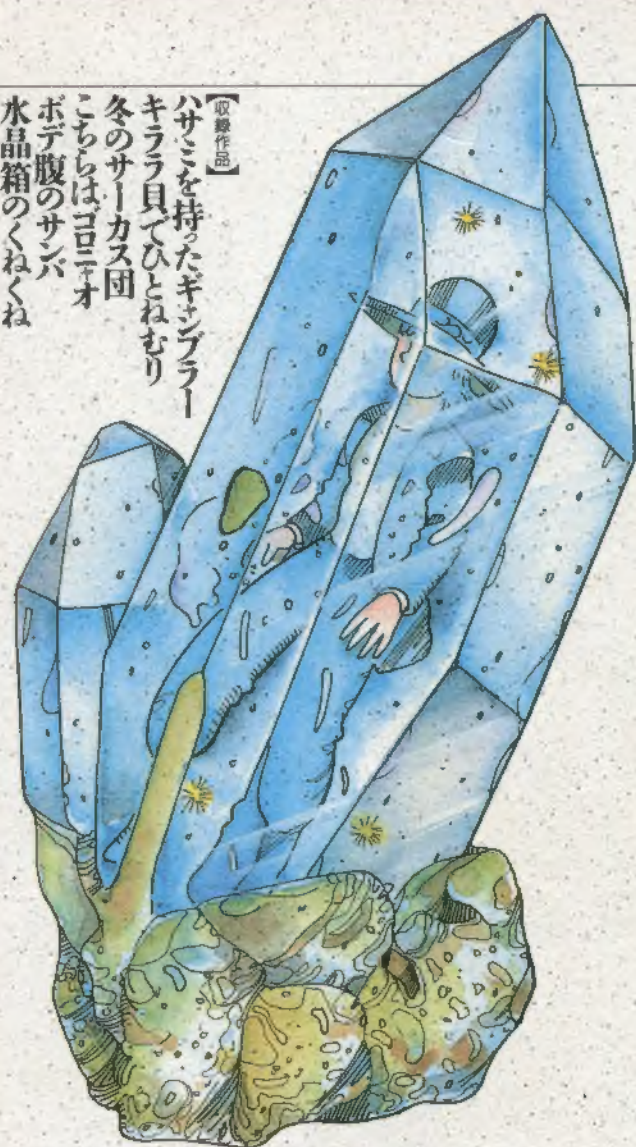
Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL

ボデ腹のサンバ

サヤサヤと吹く風のにおい。
森に差しこむ月明り。
金色にゆれるすすきの原。
蛇腹沼の庭に沈む万華鏡。
豊潤な夢、透きとおった詩情。
アタゴオル
"力"では、たどり着くことのできない世界。

朝日ソノラマ

朝日ソノラマ
Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL
ますむら・ひろし作品集［二］
アタゴオル物語
2
ボデ腹のサンバ

【収録作品】
ハサミを持ったギャンブラー
キララ貝でひとねむり
冬のサーカス団
こちらはゴロニャオ
ボデ腹のサンバ
水晶箱のくねくね
汗かきかきかき氷

定価730円 ISBN4-257-90095-4 C8279 ¥730E

Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL

ますむら・ひろし作品集［二］

アタゴオル物語2

ボデ腹のサンバ

サヤサヤと吹く風のにおい。
森に差しこむ月明り。
金色にゆれるすすきの原。
蛇腹沼の底に沈む万華鏡。
豊潤な夢、透きとおった詩情。
アタゴオル
〃力〃では、たどり着くことの
できない世界。

目次

ハサミを持ったギャンブラー

チャプッ
チャップ
よう兄さん
チャプッ
この辺にトバク場があると聞いて来たんだが…
見かけない顔だなあ…
トバク場ならこの道をもう少し行くとありますよ
そうかいありがとう
いいえ
あっ

でかいハサミだなあ

どうしてあんなものブラさげてるんだろう

チャップ

チャプッ

それに……あの袋……

チャップ

ちっともそろわないや……

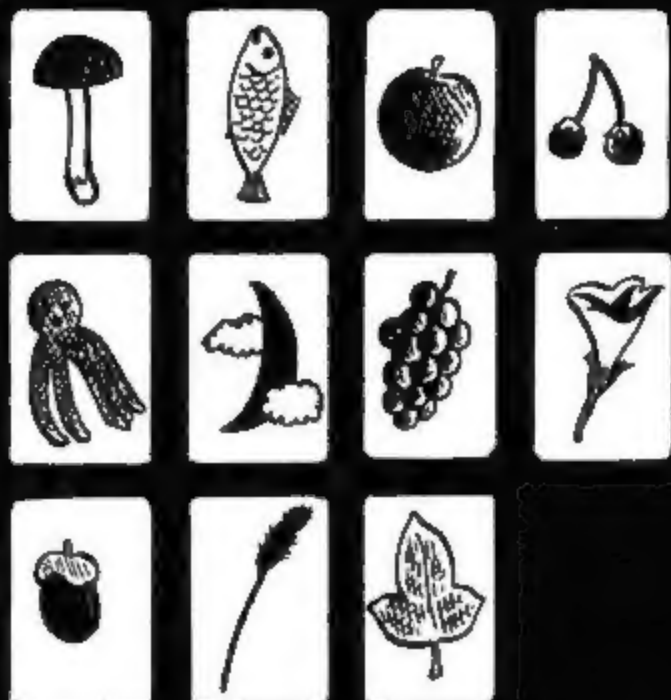
こんどは勝てるぞっ

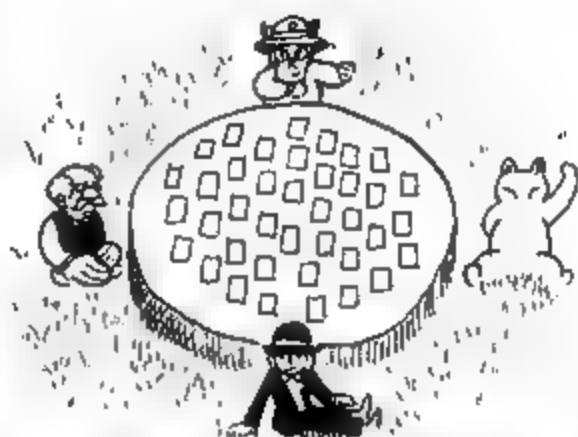
いくらやっても必ず勝つ

オレはネズミトランプの天才なのよう

ネズミ・トランプ
このゲームは
51枚のカードで
行ないます

そのうちの7枚のカードには
わからないようにして
猫の牙がつぶし込んであり
表には猫の顔が
描かれています

のこりのカードは
ネズミを溶かして
作られており
同じ絵のカードが4枚ずつで
11組あります

ゲームは1番早く
同じ絵のカードを4枚
そろえた人の勝ちです

まずカードを
切って　全部裏返しに
してならべます

そして順番にひとり
1枚ずつ引いて

手持ちのカードを
3枚にします

それ以後は1枚引いたら
気に入らないカードを1枚
引いた位置に返して
常に手持ちを3枚にして
ゲームを進めて行きます

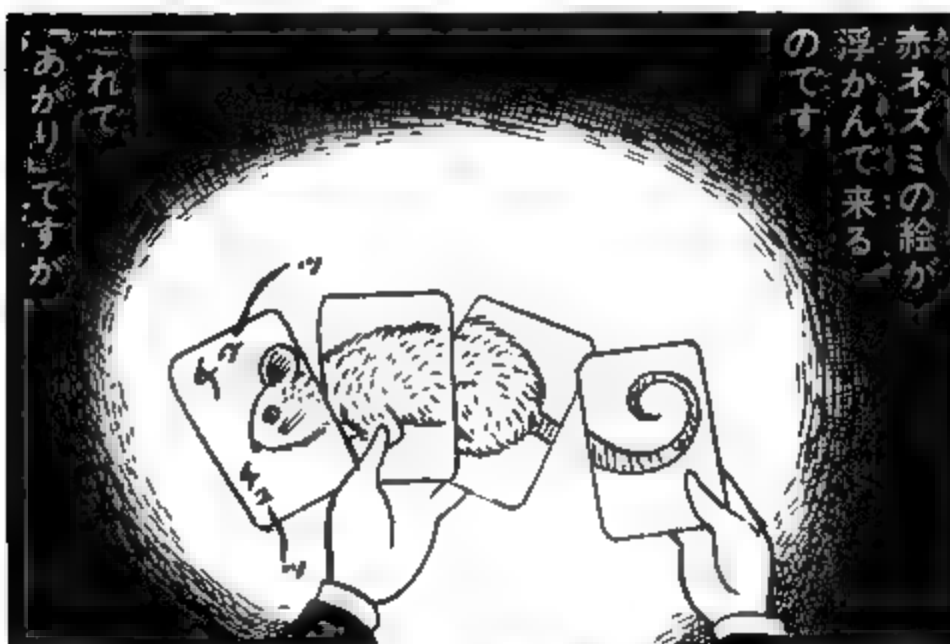
そして
同じカードが
4枚そろうと

絵は
スーッと消えて

チュッ

泣き声を
あげな
がら

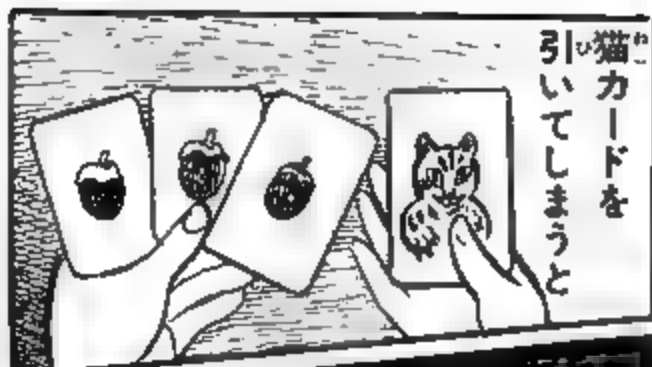
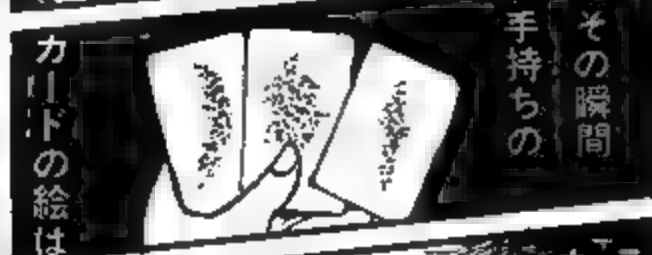
赤ネズミの絵が
浮かんで来る
のです

これで
「あがり」ですが

しかし
せっかく
2枚　3枚と
そろっても
……

あと
1枚だ

うっ

猫カード

猫カードを引いてしまうと

その瞬間手持ちのカードの絵は

テーブルのカードの絵と変わってしまいます

うううっくっそお

はいオレの番だね

どいつもこいつも……どきょうのない奴ばかりだ

ガャ

ガャ

ガャ

!

ヘンゾウさんどうかしたんかい？

てっ鉄バサミだ、

なんだ？あの背中の袋は……!!

チャッ

チャップ

わしが旅をしていたころに1度奴を見かけたことがあるんだ

あの袋の中にはよとんでもない物が入っていたぜっ

オッ
フッフッフッ
!
そろそろあがってやろう
フェッフェッ
こいつの手つきはいかさまくさいんだが
どうも見やぶれない……
サッ
チュ～ッ
ニッ
ああっあがった
またあがったのか
チュ～ッ
チュ～ッ

なかなかの腕ですね

フフッ

ガヤガヤ

まあね

ちょっと見させていただきましたが……

どうです私と勝負してみませんか

オレと勝負？……フフッあんたいい度胸だね

ようしやろうぜ……でも1回にいくら金をかける？

いや　あなたにかけてもらうのはお金じゃなくて

あなたの耳にしてもらいたいんだが

ふふっ
いいだろう……であんたが負けたら？

私が負けたら耳でも金でもあなたのほしいものをあげますよ
耳をもらってもしょうがないなあ…
お金にしよう
おやその耳
かけに負けて切られたのかな
……ええ

若いころ一度したたか酒に酔って勝負をしてしまってね
でも私が負けたのはその時だけですよ

ほほう……ところでその袋
チャプッと音がしたけれど酒が入ってるのかな？
いやちがいますよ
中を見てもいい？

……いいけど
う

耳だ!!
アルコールにつけた私の宝物ですよ
私と勝負してくれますね
こいつオレに勝てると思ってるのか……
フフッ
ようし始めようぜ
そうこなくっちゃ
ぐぐうぅ…
う
勝負はメシを食ってからにしよう
いいけど……
しかしここは少しうるさいですな
それじゃほおずき沼でやろうぜ

フーッ うまかった

おまえ よく メシなど 食って いられる なあ

もし負けたら耳を切られてしまうんだぜ

フフッ

オレには絶対負けない方法があるのよう

フェッ フェッフフェッ

ところで博士最近はどんな薬を作ってるんですか?

ガチャ

強力なカゼ薬をね

ニオイがひどいけどこれはきくんだよ

うっ

変なニオイですね

いいニオイだなあ……

くっ

それオレに飲ましてくれ

いいけどおまえこれはカゼ薬だぞ

んっ
んっ
んっ
あんなくさいものをよくもまあ　うまそうに飲むもんだなあ
うーっ　腹にしみるぜ
ボゴッ
どおれハサミ男をぶちのめしに行くべえっ
ブーン
ポロッ
これヒデヨシチーズを落としたぞっ
ら
あいつ貧しいくらしをしてるのに高級品のチーズを食っているのか!!
あららっ穴があいてるわ
フーコちゃんにぬってもらいな

1回勝負だよ
ようし始めようぜ
おっ
サッ
いいぞっ
うっ
サッ
くそっ
ちっともそろわねえ
フッフッフッそろそろ左手で始めるか
あんたの番だぜ
おう
よし魚のカードを集めてやろう

チェッ

……

クルッ

スクーッ

フクッ

またも来ました魚ちゃん

あれ?

サッ

たてつづけに

フフ

同じカードを引き始めたぞ……

あんたの番だよ

ムッこれだな

これであがりだ

まてっ

どうしたの大声たてて……

その左手をちょっと見せてくれ

うっ

そいつの左指の間を見てくれないか

あっああ

ふてくされている

チーズだっ

これはいったいどういうことですか

完璧に

ネズミトランプにはネズミの体が溶かしてあるために

ネズミの好きなチーズを指にぬりこむと

その指に同じ種類のカードが吸いついて来る性質があるのです

いかさま師たちでもこのことに気づいている奴は少ないんだが……

よく気がついたな

ウッ野性のカンだぜ

やっぱり努力はしてみるもんだなあ

なにが野性のカンだ オレにいかさまなんか■用しないぜっ

フッこうなったら

堂々と勝負してやるずおう

いかさまやらなくてもこの調子だぜ

おまえの番だ

行くぞ野性のカン!!

う

猫カードだ

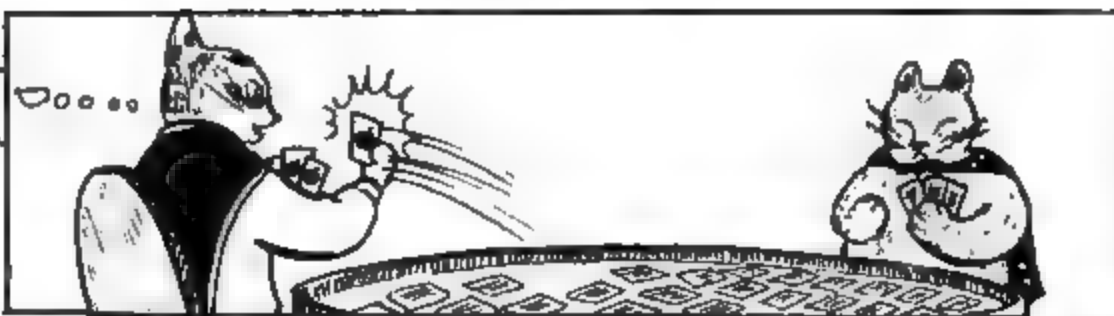
くそっ

やっとそろえたのに

バラバラだ

オッ

あがったよ

パラッ

とうとう片耳のヒデヨシか…

うーっ
もう1度やらせてくれ

……いいぜ

オレが負けたら耳を切るのはやめてやるよ

それじゃあと2回させてくれ

どうしてだよ

1回で耳の分をとりかえして

もう1回勝っておまえの金をいただくのさっ

くっ
そう
また猫カードだ
おい
あがったぞっ
りょう両耳とられてしまった
こうなったら
あと3回させてくれぇ
これ以上はもう
だめだっ

さあ約束だったな
おねがいだ
ゆるしてくれたのむ
博士やめさせましょう
いや かわいそうだが約束は約束だ止めるわけにはいかんよ
なんでもするから切らないでくれえっ
あきらめなよ
くっそおこうなったら
泳いでにげてやるぜっ
にげる奴をとっつかまえて切るのにはなれているんだ
行くぞっ
うぐ
ジャキ
歯をくいしばれ
キャーッ
まてっ

バギ
やったっ
ヒデヨシ だいじょうぶかあ
フーム
おかしいな ……痛くないぜえ
えっ!?
あれ?血がほとんど出てないよ
耳を切っても血がほとんど出ていない? そんなバカな!!
まさか……
しかし変な頭だなあ
クルッ
フン

くっ
くっ そぉ
だれだ こんなトランプを作った野郎はっ!!
さあ これ かぶりなよ
どうも
グッ
にあうじゃない これからはいつもかぶっていなよ
ちくしょう こうしてやる
ばかトランプ
博士……「まさか」とはどういうことですか
ヒデヨシの奴
さっきカゼ薬をのんだだろう あれが副作用を起こして
それで血が出なかったんじゃないかと
あれ? ヒデヨシの帽子が
動いてるぞっ
ん?
なんだ
サッ

プルン
プルッ
う
うさぎの耳だ
うさぎネコ!!
ぐいっ
オオッ
いっかすうーっ

あの強力なカゼ薬を作る時うさぎの肝臓をかなり使ったから……

多少副作用はあると思っていたが

……うさぎの耳が生えて来るとはなあ……

ヒデヨシ よかったじゃないか うさぎの耳でもないよりはましだよ

そうね 帽子どうも

にゃん にゃん

うさぎネコだずおう

ビョン

ビョン

ねえあんた ホラ ホラ

ピクピク

ほう… けっこうにあってるじゃないか

見て

ピタッ

もう1回やらないか？
ピン
おしまい
10.11

キララ貝でひとねむり

サンゴの森

ウーーッ 早く降らないかなあ……

何が?

雪だよ 雪!!

雪はもう少し寒くなってからだよ

あれさえ降ってくれればひと安心なんだが……

ひと安心？

どうしてそんなに雪が待ちどおしいんだい？

雪が降って来るとおれの腹は満たされるのよ……

もっくりもっくりと雪を食ってな……

雪なんか食ったってちっともうまくないだろう

フッフッフッ うまい まずいは二番目さ…… 一番大切なのは

満腹感だよ

ささ ぐっと行ってみて

トクットクッ

満腹感かあ…

ら

どうしたんだ ヒデヨシ

こっちの方から

変な音が聞こえるぜ

何にも聞こえないけどなあ

おれの耳は特別なんよ ねえ 行ってみようぜ

あ

唐あげ丸さんだ
フーム バイオリンの音だったのか……
くっ
だめだ……
……もう少しだったのに……
……オヤ
こんにちは

これはヒデヨシ君にテンプラ君

おやじバイオリンの練習しているの？

いやサンゴの森の中にはキラキラ光る貝があると聞いて来たのです

この貝をテーマに新しい曲を作ろうとしているのですが

どうもイメージがいまひとつ足りないので苦しんでます

しかしこの光きれいですねえ

この貝は太陽や月の光を吸収して輝くので

この辺の人たちは「キララ貝」と呼んでいます

ほほう「キララ貝」ですか……

フフッ
フフッ 光のオフロに入ってるみたいだなあ……
ホント あたたかくていい気持ちだ
こうしてすわっているとトロトロと……眠くなって来ますねえ
親方
そろそろカニのエサを買いに行かないと!!
おおっ そうだったなあ
私たちはこれから風鈴森まで買い物に行くのですが……
ぼくらは昼寝して行こうか
ポカポカいい気分だからそうしようよ
眠くなって来たしな

ぐーうぁ
ギッ
ギッ

キギギッ

ん

う

ああ

バーーン

あれ

なんだろう
今の音は？

おい

起きるんだヒデヨシ

ん……

なんだもう夜か……

夜じゃないよ貝に閉じこめられたんだ

あぐあ

あれ……なんだか足の先が……しびれて来た

おれもだうう

うあっ……

ぐぶ

キャ〜〜ッ

バキバキバキ

キララ貝がしまっているぜ

あれ?

そうか さっきの ものすごい音は 貝がしまる 音だった のか

でもキララ貝が しまるなんて 知らなかったな

パチ

おれも はじめて 見たよ ……

でもよ この貝には

「三千年に一度 閉じてしまう」 という言い伝えが あるんだよ

すると きょうが三千年目 なのか……

ところで パンツ

最近 ヒデヨシと あわないか?

おとといの夜
オクワ酒屋で
あったけど…

おれ あいつに
金貸している
んだよ

そりゃ
もう
ダメだよ

あいつ
金を貸したら
落としたと同じ
…もどって来ないぜ

ウーム
とりもど
さなくては

オクワ酒屋に
いるかも
しれないよ

よし
行ってみ
よう

しかし
きれいですねえ
あの「キラ貝」は

あれを見て
来たんですか?

ええ
新しい曲を
作るために

光の中で
バイオリンを
弾いて来たのですが

どうも
うまく
行かなくて

そういえばヒデヨシ君とテンプラ君にあいましたよ
今ごろ二人はあの貝で昼寝をしていますな
キララ貝で眠ったら
いい気持ちだろうなあ
オクワさんもう一ぱいいただけますか
はい
親方
そろそろエサを!!
カニのエサを買わないと
たのむよヒデ丸あと一ぱいだけ飲ましてくれ
ようタクマにパンツ
こんにちはオクワさん
ヒデヨシ来なかったですか?

あれ
唐あげ丸さん
ヒデヨシ
たちは

ええ
ヒデヨシ君と
テンプラ君は
お昼寝してい
ますよ

キララ貝で

あの貝
しまって
いたぜ

えっ

まさか
あの二人

閉じこめ
られたの
では……

行って
みよう

ぐっ

こっ

だめだ!! どうしても開かない

オーイッ
ヒデヨシッ テンプラーッ

なにも聞こえない

そうか・・・

これ

コン

もう死んでしまったのかねえ

でも二人はここから帰ったのかもしれないよ貝が閉じる前に

それも考えられますね……

とりあえず手分けして二人の家に行ってみよう

そうだな

ギッ

ギギッギ

あ

開きはじめたぞ

ギ…ッ

ああテンプラがっ

光の真珠だ

これこそ私の求めていたイメージだ

だんだん
のぼって
行くぞ

うっ
おい
起きろよ
ヒデヨシ

ん……あれ ここはどこだ?
サンゴの木の上みたいだな
うーっしかし さっきは変な気分だったな
うん
キララ貝の光が分解して真珠になる時
ぼくらの体も光といっしょに分解したんだよ
フ…ン そうか
これが光の真珠か
ああ
どうしたん?
ヒデヨシ ほら!!
らっ
フフッ

おしまい

10.16 ·GORONAO·K

冬のサーカス団
その1

アクゴオル　緑馬の森

この辺なら……わからないだろう

足跡を消して…と

サッサッ

おーーい
いいぞおっ

ようし

ぐっ

うーっ テンプラのやつどこにかくしたんだっ!!

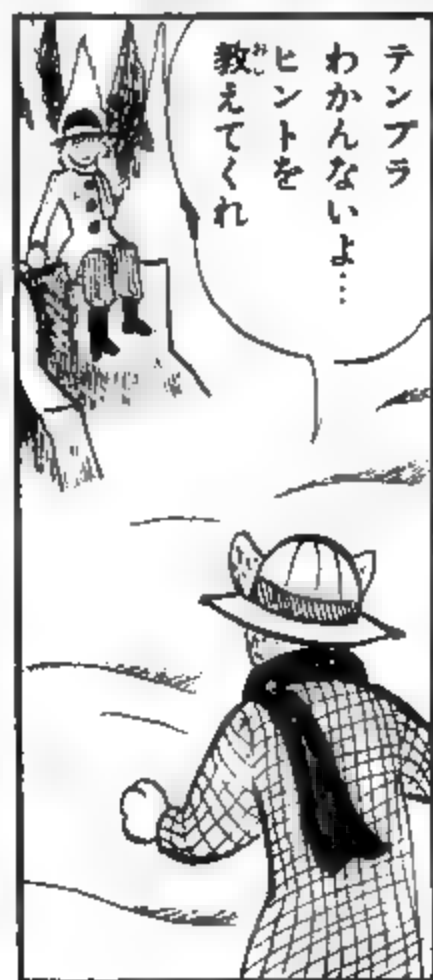
見つかんないなあ

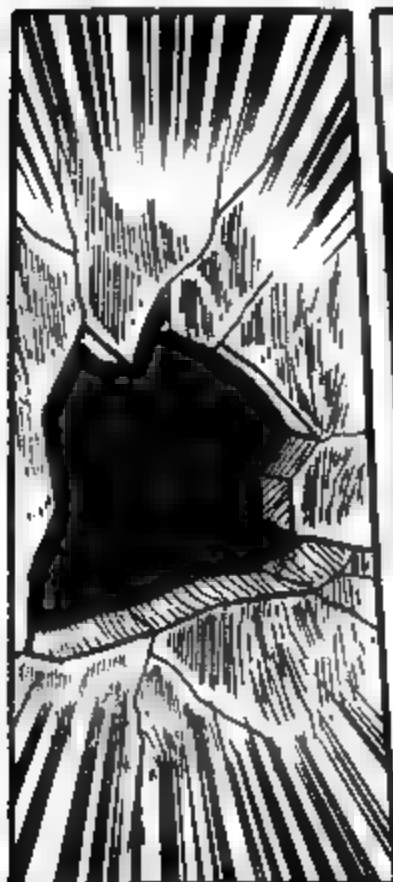
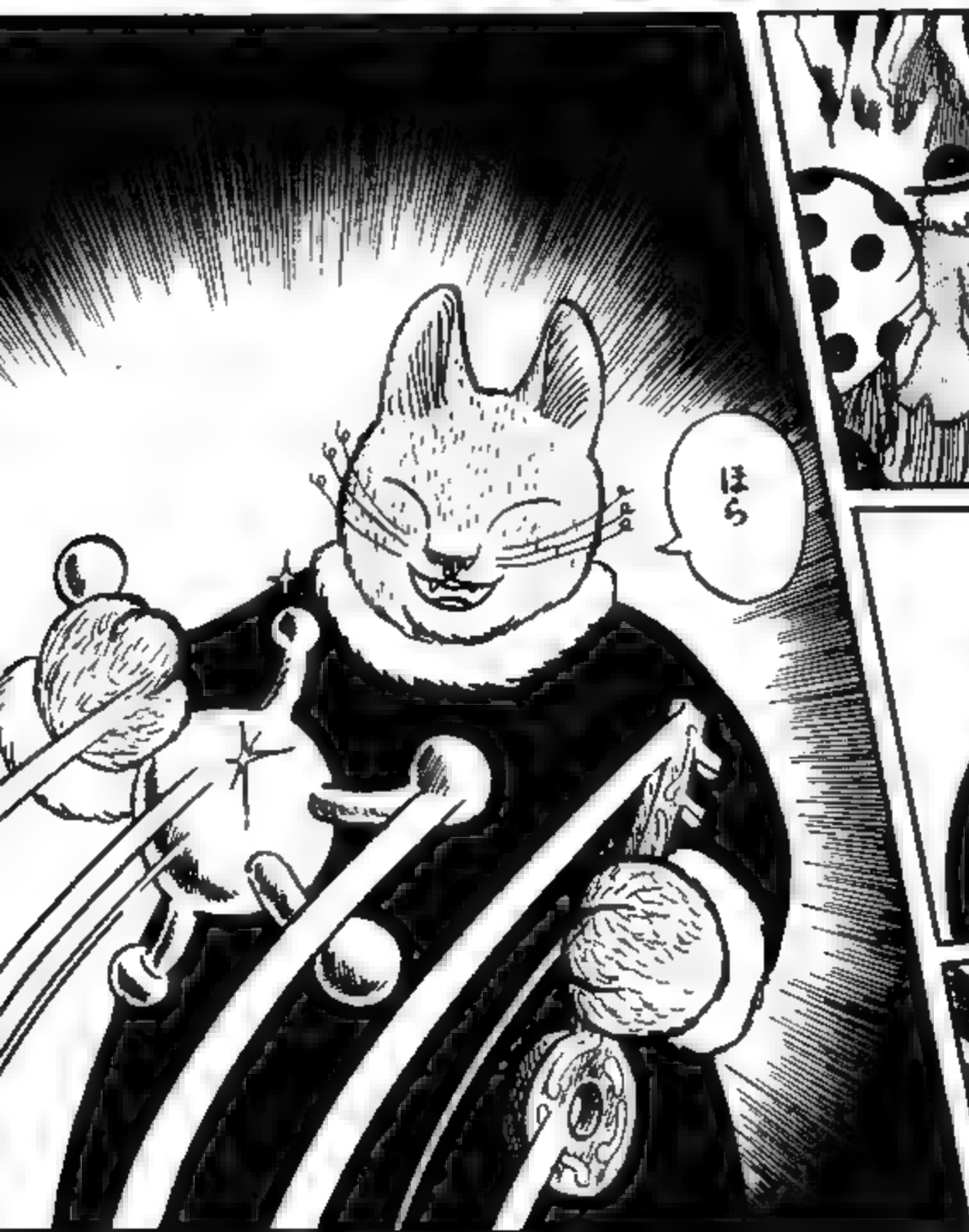
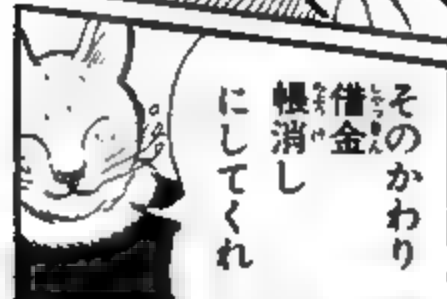
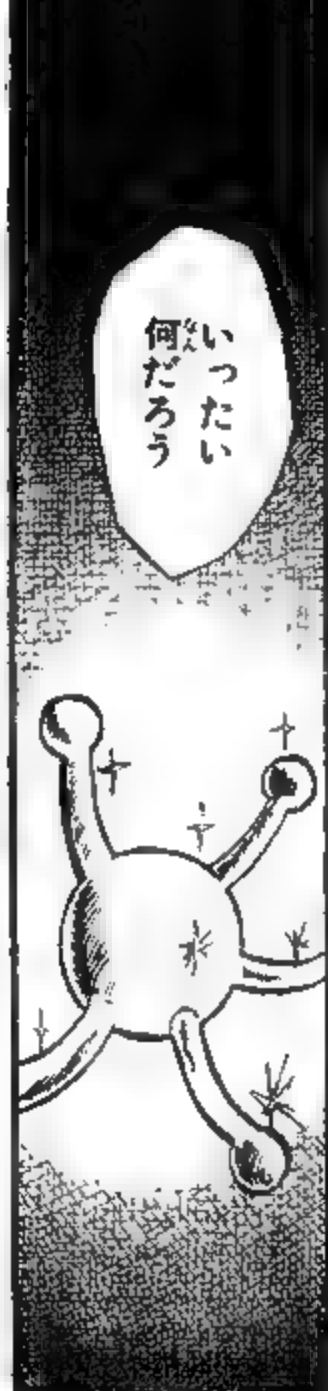
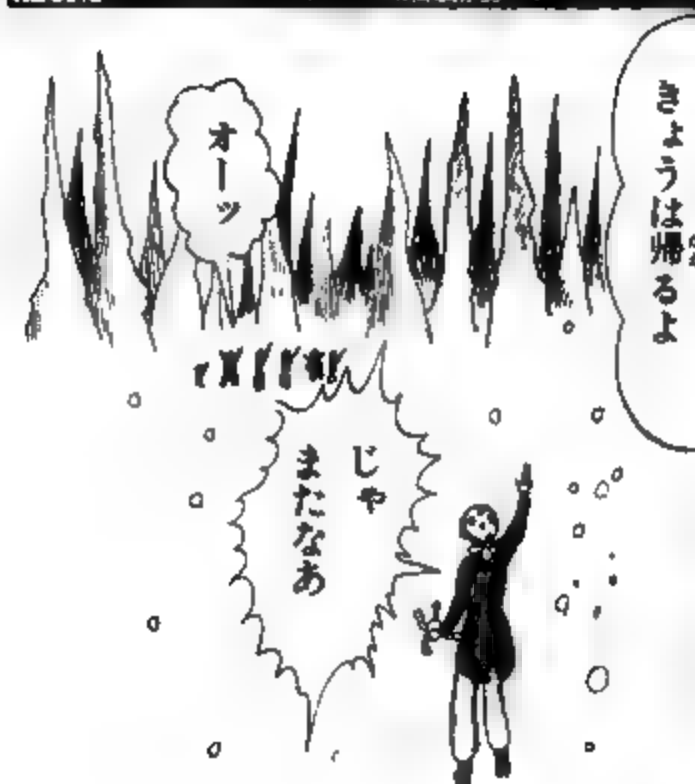
ぼくらは今雪の中にかくした「リンゴ酒」を見つける宝さがしゲームをやっているのです

テンプラ わかんないよ…ヒントを教えてくれ

ヒントは ひん ひん 馬の首!!

馬の首!?

馬の首ということはこの辺だな…

フッフッフッ
そーーかあ
馬の首かあ
パァーン
むあーさか
こんな所にかくしてるとは……
思わなかったぜえ
サッ
ああ
ヒデヨシっ
なにやってんだよ
おまえ
馬の首だって言ったじゃねいかよ
かくす場所は首の中にきまってるだろう
見っつけたっ

わーーっ
フーコに見っつけられてしまったのか
くそ
ガゴッ
うっ
ヒデヨシ どうしたんだ
ゴソゴソ
オレも見っつけたぜ
スッ
ほら

どうやらこれはカギらしいけど……
こいつは
いったい何だろう
タクマにそれやるよ
えっくれるの？
そのかわり借金帳消しにしてくれ
いいよこっちをもらった方がステキだな
よおタクマ
これからオレの家でリンゴ酒飲んで行かないか
せっかくだけど妹が待ってるからきょうは帰るよ
オーッ
じゃまたなあ

パンツの家

でも
どうして

馬の首の
中にこの
カギが
かくされ
てたの
かしら

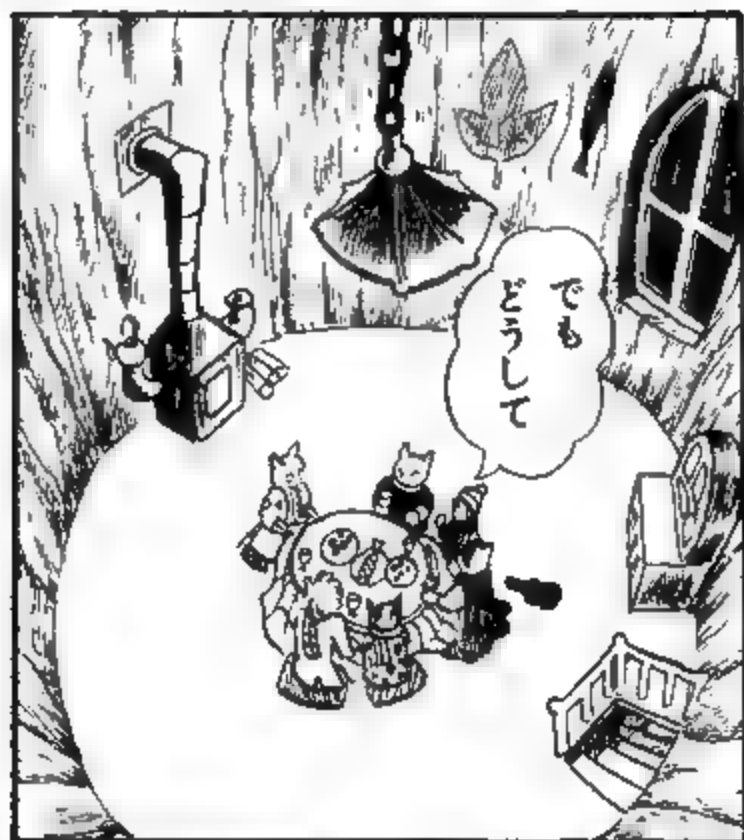
そもそも
あの馬の首は

いったい
だれが
建てたんですか？

かなり
昔の
建物
らしい
けど
……

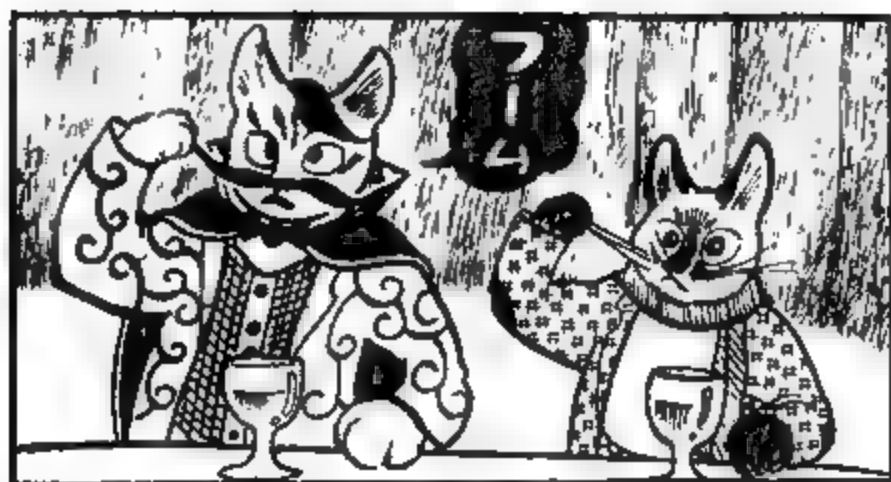
パンツ
知ってる
？

おれ前に
あの石像に
ついて色々
調べてみた
けどね
まったく資料が
のこって
ないんだよ

ただ
一つだけ
わかったことは

このヨネザアド大陸に数カ所

あれと同じ馬の首の石像が建てられている

ということだよ

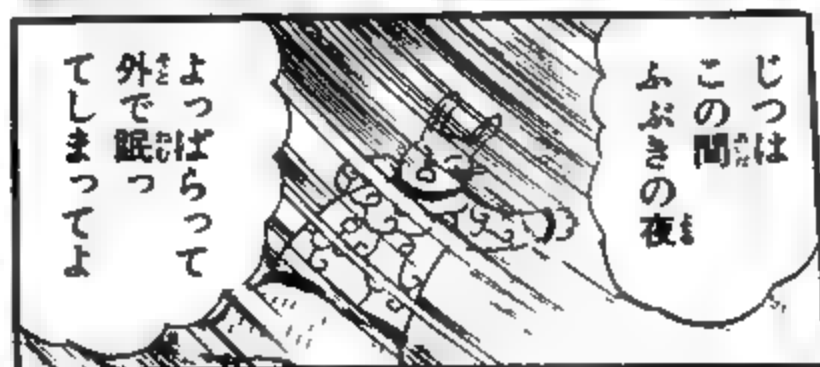
フーム

あれっ今まで気がつかなかったけど……

うさぎの耳は…どうしたの？

うっ

大切なおれのうさぎ耳が……凍傷にかかってしまったんだ

じつはこの間ふぶきの夜

よっぱらって外で眠ってしまってよ

それでヌカの目博士に色々な薬を飲まされたらこうなったんだよ

でも

その耳の方がステキよ

そお？

ヒュルル

あれっ

ヒュルルルルルルル

ふぶきだ

冬の天気はすぐ変わるから……

もうしばらくすればやむよ

タクマ君もう家についたかなあ

いそがないと道にまよってしまう

ガッ

ぐっ

だっ　だれだっ

オレノ……
モチモノヲ
カエセ

持ちもの……?

何の
ことだ

ウマノクビ
セキゾウ
カラトッタ
ヤツダ

せいっ

ザボッ

ヤルナ
コゾウ
……

しかし
タクマの
持っていた
変な形のやつ
あれはいったい
何なのかねえ

明日タクマの家に行って調べてみよう

そうだな博士にも見てもらおう

ニャゴロロ…！

もう11時かあ

やみそうもないぜこのふぶき

こまったわ……

お〜〜〜っ

親方っ

かっかっ

かにに エサをやりに帰らないと

しかしヒデ丸この天気じゃ帰れないよ

どうやら一晩ふぶきそうだから

みんな泊って行ってくれよ

どうも

そうさせてもらうわ

ウーッ……おはよう

フーコちゃんおはよう

……

ふぶきやんだみたいね

あ

ねえちょっと早く来て

え?

森がまっ白だわ

どうしたんだフーコちゃん

う

テントだっ

みんなを起こして行ってみよう

さあさあサーカスだよっ

空気人間に

石炭男!!

花食いゾウに
水晶娘!!

うう
血がさわぐ
野性の血がっ

なあ みんな 早く入ろうぜっ

よしっ

さあ いそいでっ もうすぐ はじまるよう

前の方が まだあいて ますから

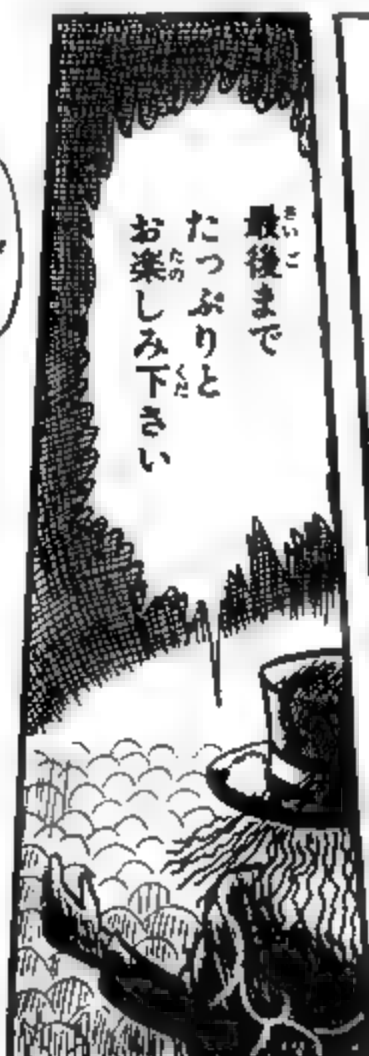
大変長らくおまたせしました

群青色のテントひっさげて

ふぶきの夜を

森から森へと移動する

くらやみの一群!!

アタゴオルの少年少女
ならびに
中年老人のみなさん
葉魔サーカス団!!
わが葉魔サーカスに
いようこそっ
最後まで たっぷりと お楽しみ下さい
まず
はじめに ご紹介しますのは

緑死海からやって来ました人魚
水羅姫です
くーっ うまそうな足
さてみなさん 私が持っているのはドロ水です

うう

あのこ どっ
ドロ水を
飲んでるぜ

はい
全部飲みほしました

みなさん
水羅姫の口もとにご注目を

フーー

ドロ水を飲んで……
虹を吹くとは!!
すばらしいっ

パチ パチ パチ パチ
パチ パチ パチ
パチ パチ パチ パチ パチ パチ

さて
みなさん

パチ パチ

これから鈴を鳴らしますので
しばらくの間おしずかにねがいます
バターン
チリリン
チリリリリリ
スーッ
スーッ
ピシッ
あっ

つづく

冬(ふゆ)のサーカス団(だん)

その2

タクマだっ!!

なーーんだあいつ

サーカスで働いてたのかあ

いやちがうよ

タクマにそっくりだけど

あれはあやつり人形だぜ

ホラ ヒデヨシよく見てみなよ

あやつり糸がたれさがってるぜ

あれまあっ

おっ…おい
テンプラ

あの人形がぶらさげているものは!?

あっあれはタクマがヒデヨシからもらったやつだ

それがどうして
あの人形の首に………

すこし変だぜ

この
サーカス団

それではただいまより　このあやつり人形が…

スーッ

鈴の音にあわせて演技します

ブ～ン
う
トン
オイ……
ウマノ
クビカラ
ヌスンダ
カギヲ
カエセ
ぬ
ぬすんだ
カギだ
とお——っ

ぬすんだんじゃないぜ
見つけたんだっ
コノヤロ人形が一人前の口きくんじゃないよ
こっ
これは…人形じゃない本物のタクマだ
う
なにタクマだとお
フッフッフッフッそうか……
おれからその首にさげてる奴をもらったら
こんどはカギもほしくなったんだろう……
欲望とは恐ろしいもんだ
サッサトカギヲカエセ

かえせ
とはなんだ!!

あのカギは
おまえの
もんじゃ
ないぜ

ソウダ
コレモ

オマエガヌスンダ
カギモ　ズウット
ムカシカラ

薬魔
サマノ
モノナ
ノダ

薬魔
…様!!

ヨーマ
?

ふぶきの
夜を待って
いた

ふぶきの
ふきあれる
冬が来るたびに

深あい眠り
からさめて

馬の首の
石像の
建つ森や
丘を
めざし

この広大な
ヨネザアド
大陸を
旅して
来た

オレたちはサーカスをやるためにアタゴオルに来たんじゃない

緑馬の森に建つ馬の首の石像にかくしておいた「カギ」と「回転球」を

とりに来たのさ

リリリ…

!

ス…

ダア

あぶないっ

キャー

やめろタクマ

キアー

おいっ タクマっ

ジャマヲ

スルナ

あっ テンプラ

キャ——ッ

だいじょうぶか

ああ……

早く医者へ つれて 行こう

おい 始めろ

はっ

ヒデヨシ 唐あげ丸さん 早く出よう

このテントに入ったら

二度と出られやしない

う

なんだ これは

このテントは

音を聞いて姿を変えるパラニル草という

変形植物で作られているのさ

くっそう

みなさん早くにげましょう

!

観客席にすわっていたのはサーカスの団員と人形だけさ

おまえたちはこのバラニル草の迷路から永久に出られやしないのさ

へっ

ぬけ出てみせるぜえ

ガサ

ようしおいつめろ

ヘイッ

うう このままじゃつかまってしまう

ヒデヨシとヒデ丸!! なんとかしてここをぬけ出してオクワさんたちに知らせてくれ

オウ おれにまかしておけ
行くぜヒデ丸っ
ハイッ
ヒデ丸こっちだ
ハイ
こら大声出すんじゃないよ
はっ
わかりました
おっ あそこにいたぞお
キャー みつかった
おえーっ

わっ

ザザッ

キャー

ガサガサガサ

キャーッ

ら

しまった行きどまりだ

こっこうなったらあ

ダッ

ベリッ

ザボッ

あれ
ここは……テントの外だ

おっ テントの穴が!!

ひとりでにふさがって行く

バラニルとかいう草で作られているからだな

フーム なかなか便利なもんだなあ

おっ

感心している時ではない

オクワのおやじに知らせに行かなくては

スーッ

ガサ ガサ ガサ

ああ
ガサガサ
前もだめだ
よし
こっちだ
ガサガサ
こっちにいるぞーっ
うしろから来るぞ
ザッ
!

家で着がえをしていたら手間どってしまった

うーっ いそがなくては!!

ん?

ポン

なんだ?

ゾウだ!!
さてはおまえサーカスのまわしものだな
ようしおれがこらしめてやるっ
あれ?
このっ
ぐっぐっ
スーッ
ぬっ
ぬけなくなってしまった
チューーッ
あっ
ゾウのくせに酒を飲むとはなまいきなっ
コラ
ムッ
これゾウおれの子分になったら酒飲ましてやるぞ

子分になるなら その鼻タテにふれ
いやなら ヨコにふれ
さあ 返事は？
パロン
ようし
ぐっと 行け
ドス
ちゅー ちゅー
おいゾウっ おまえの名前 なんていうんだ？
パローッ
パローッ じゃ わかんないな
よし おれが 名前を つけてやる……
おまえの 名前は……
サスケだ
パロー

ようしサスケ
もっと飲めっ
パンツ唐あげ丸さんがついて来ないわ
えっ
あれフーコちゃん
あそこにいるよ
おおい
唐あげ丸さんっこっちだよ
ナンダソコニイタノカッ

キャーッ
フーコちゃん にげろ
オーッ いたぞう
フッフッフッ そっちに にげたら 行きどまりだぜ
おいつめるんだ
もうすぐ カギが 手に入る……
そうすれば…………
う…
しまった…!!

こんな時に

パロー

おっ
テントが
見えて
来たぞ
サスケ

あれ たいこと
ラッパの音が
やんだぞ

つっ
こめっ

そういえば
鈴の音も

パローーッ

どうしたんだろう急に静かになって来た……
これは妙だな
オーまたせたな
あ
どうしたんだ そのゾウ
酒を飲ませておれの子分にしたんだよ
あらっヒデ丸は？
テントの外には出て来なかったぜっ
ヒデヨシオクワさんはどこだ？
う
行くのをわすれてしまった
どうも
ぺっ
なにやってんだよおまえ

とにかく テンプラを つれて行こう

ようし サスケ みんなを 乗せてやるんだ

あれ…… このにおい なにかしら

ムッ 潮のにおいだぜ……これは

塩のにおい?

海の水のにおいのことだよ

だんだんにおいが強くなるぜ

この辺に海なんてあったかなあ……

らっ
つづく

冬のサーカス団 その3

ゆや

ゆ

お

ん

薬魔たちが……
水の中に入ってる
死んでるのかしら……
いったいどうしたんだろう

おいみんな妖魔たちの顔を見ろっ!!
え?
顔中にホッ
ホクロがくっついてる
いや……あれは
はん点だ
はん点……
……
でも変だな
さっきまであいつの顔にはん点なんてなかったぜ
うーっさっぱりわからん
あいつら死んでしまったのか…

でも水の中じゃ生きてられないよ
そうだよな
水中じゃ息ができないから・・
ウーム
おれには死んでるように見えないぜ
なんだかのどがかわいてきたな
これサスケあそこの水おれに飲ましてくれ
パロー
チューーッ
ハイどうも
バッ
ガブガブガブガブ

う

ゲッ

おい どうしたんだ？

うえっ

これ

海の水だ…

ええっ 海の水!!

ねえ見て

葉魔の口から

あれ？

口からアワふいているぜ

水の中で………

呼吸してるんだ

葉魔たちは死んだんじゃなくて…

眠っているのよ

眠っている?

なあ……さっき
あいつ
ふぶきの
夜を
待ってい
たって
言った
だろう

ええ
たしか

冬が来る
たびに
深い眠りから
さめて……
この大陸を
旅して来た
って……

うん……
ということは
やつらは冬が来るまで
どこかで眠っていたことになる

その場所は
……たぶん

海の中
だ……

海の中
……

そうか

サーカス団の
連中は……

海の中で
冬を待っていたんだ

海中で
呼吸が
できるなんて
……

こいつら
いったい何者
なんだろう!!

よしっ
悪魔が
眠っている
スキに
ぬけ出そう
ぜ

あ
なんだ これは
降りて見てみよう
でかい葉っぱだなあ

いったいなんの木なんだろうな

あ

カギ穴だ

もしかしたらこのカギ穴!!

おいヒデヨシあのカギどうした?

フッフッ

さ

ちゃーんと持って来たのよ

そのカギをさしこめば薬魔のさがしていたものが出て来るぞ

フフなにが出て来るのかな

よし

やるぜ

ガチャ

ギーギー

うっ

からっぽだ?
なにも入ってないなんて……変だな
あ
フーコちゃんどうした
あそこに……
おのれタクマ
テンプラのかたきだ
おれと勝負しろいっ
あれ?
どうしたんだろう動かないぜ

そうか

タクマたちをあやつっている葉魔が眠っている時は動かないんだ

どうする？

よし

あの糸を切ろう

そうすればあやつれなくなるぜ

タクマ

おいタクマ

タクマ

糸を切ってもダメか

ああ

よっこらしょっ

あれ？

いいにおいがして来たぞ

うん甘いにおいだ……どこからにおって来るんだろう？

唐あげ丸さんのバイオリンの箱の中からにおって来るぜ

おかしでもかくしておいたのかな?

フフッ……開いてみよう

パカッ

モクモク

うあ

うう

モク

チャプーン

もうこのテントに用はない

バラニル草といっしょにかたづけてしまえ

ハイ

おい
ヒデヨシ

起きろ

う

フッフッフッ
お目ざめかね

あっ
薬魔

あれ
どうしてこんな所にしばられてるんだろう

おれたちが眠っている間にトラ猫を助けてぬけ出さないように

バイオリンの箱の中に眠り薬を入れておいたのさ

うーっ
悪がしこい奴めっ

おい
薬魔

どうすればタクマたちは正気にもどるんだ?

おれはただ鈴をふっていただけさ

薬魔てめえ

とぼける気かっ!!

おれに聞いてもムダだぜ

こぞうをあやつっていたのはおれじゃない

ハッハッハッ
おまえたち
おれの名前を知らんらしいな…
……おれの名は毛脈
このサーカスの副団長さ
毛脈副団長だって?
……すると葉魔団長とはいったいだれなんだ
カギモ
テニハイッタ

ヤット
ホウタイヲ

トルトキガ
キタ

あっ

黒い
髪だ

かつて

このヨネザアド
大陸の

中央部を
支配した

黒髪王の
子孫……

……おれが

妖魔だ
オッ
こいつが妖魔だったのか
……うう
ん
ヒデヨシ
オッ
タクマが気がついたぜ
えっホント
…………

うっ
鹿あげ丸さんも気がついたわ
えっ
……糸を切ってもだめだったのに……
どうして急にふたりとも
気がついたんだろう……
おれがほうたいをとったからさ
なっなんだと？
葉魔
そのわけをはなしてくれ!!

こぞうとトラ猫の体には

海草から作った

あやつり液がうちこんであるんだ

あやつり液？

このほうたいも

同じ海草で作ってあるんだ

そしてこのほうたいを

頭にまいた者が

そいつらの心を支配できるのさ

そうだったのか

団長いよいよですね

……ああ

ついに
おれたちの
夜も……
終わる時が
来たんだ……

さあ 毛賊 準備しろ
ハッ
おい 叢魔
おまえたち いったい 何をしようとしてるんだ
夜明けまでは まだ時間がある
おれたちが なんのためにここに きたのか
……今から それを 話してやろう

ずうっと昔……

ここらしいな

おれの家に3人の盗賊が押し入って

なにかをうばって行った

おい あったぜ!!

おやじとおふくろを殺し……

おれは奴らを追って

ギルドマ ジャングルに行き

切り合いの末に

それが…… すべての はじまり だった

三人を殺した
そして……
ふと気がつくと……
やつらの死体のそばには
馬の首の石像が建っていたんだ
馬の首の石像が……
…やつらが盗んで行ったものそれは……
青い箱だった
いったいなにが入っているんだろう

サッ

!

中にはこれが入っていたんだよ

あっ

アタゴオル
緑死海
竜母岳
ギルドマジャングル

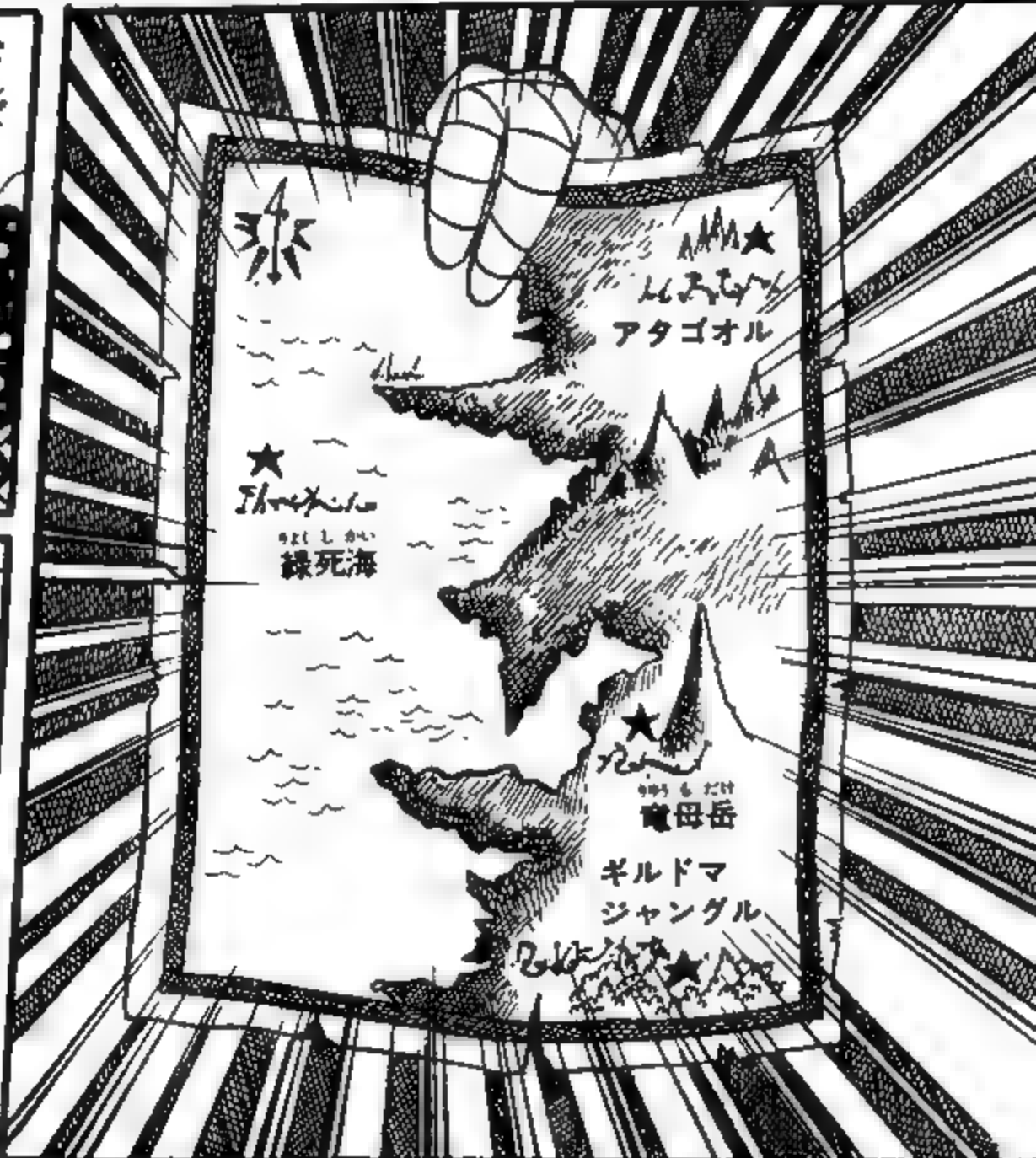
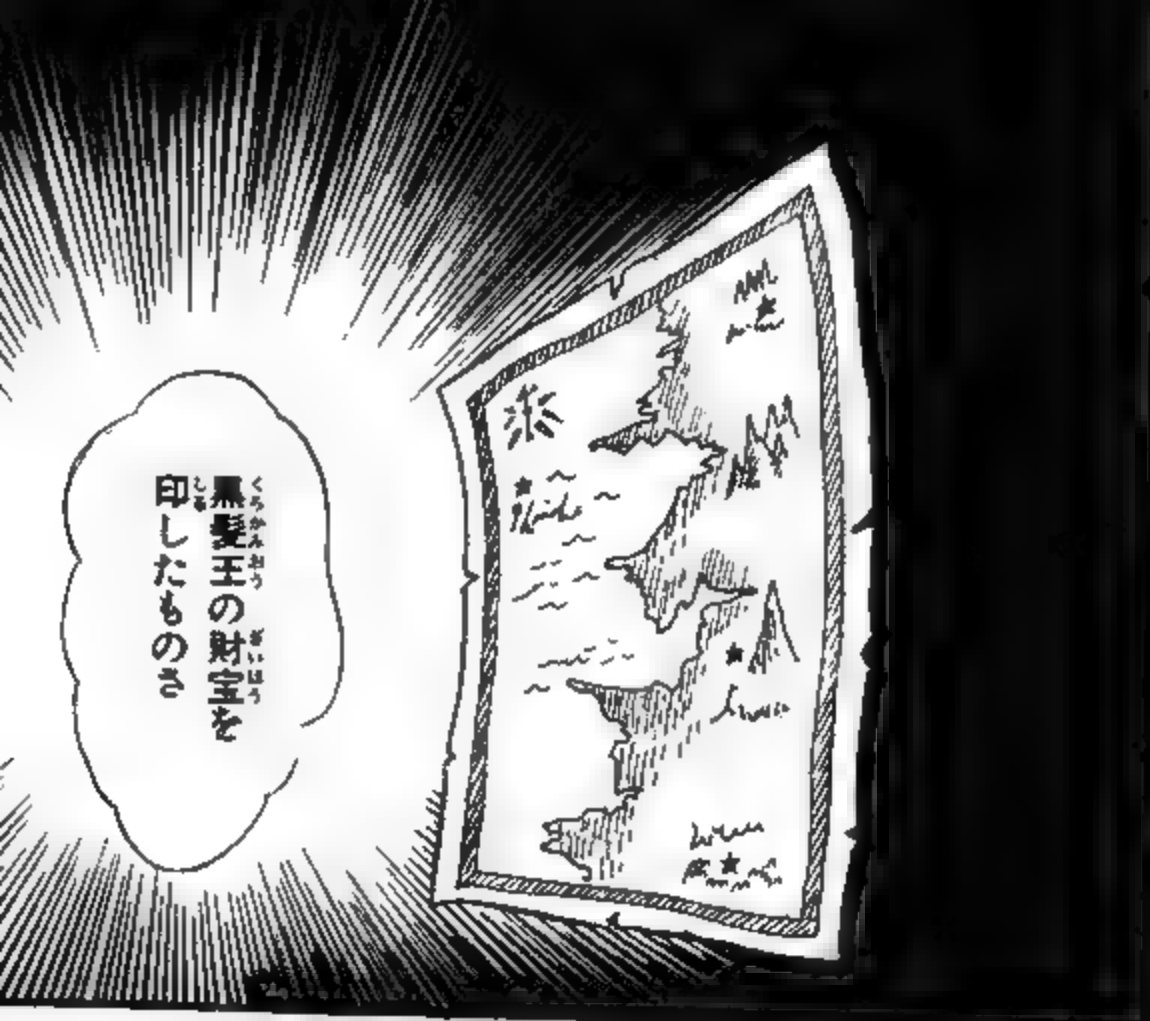
なんだこれ？

地図だ!!

……星印があるぞ…

いったいなんの印なんだろう……

四つの星印は……

馬の首の石像の位置を示しているのさ

えっ
これは なんの地図なんだ!?
黒髪王の財宝を印したものさ
財宝か!!
さては金貨がざっくりだな
王の財宝は……そんなちっぽけなもんじゃない
もっとすごいものだった!!
もっとすごいだとっ?
フーム……スダコの山かな
おれは王の財宝を求め
ジャングルの石像の中にあった
だが……
そこにあったのは……
うーっ なにがあったんだ
早く教えてくれっ

赤い液体の入ったビン…と

…………草の種…

冬のサーカス団

……赤い液体のビンと

草の種

カギと……回転球

そして……赤い液体と草の種…か……

石像の中にあったのは

それだけさ

うう

酔ダコの山じゃなかったのか……くそっ

黒髪王の財宝とは……いったい何なんだろう……

地図の裏には文字が書いてあった
おれはそれを読み……すべてを知った
……これが王の財宝か……
……おれは決心して
その種……魔法の草の種を
石像の近くに植えた
そして、赤い液体……流止液の入ったビンを持って死海にもどった
ザザ
ザ
ザ
ザ

目印の位置に、小船が着いたら
地図にしたがって、流止液を飲んだ
フフッ 流止液か…うまそうだな
しばらく
体中にはん点が出て来たんだ
えっ？
ゲゲッ
そして…
だんだん呼吸が苦しくなって来て
バ
シャーン

道止液を
飲んだおれの
ずうっと
もぐって
行くと……
やがて海底
に……
馬の首の
石像が
見えて来た
そして
そのそばには
サーカスの
テントが
はってあった
かっ
海底に……
サーカスの
テント!!
テントの
中には……

黒髪王朝の
生き残りの
連中が眠って了に

そして
おれは
石像の中に
あった
ほうたいを
まいて眠りに

やがて
時が
来た

おれたちは
眠りからさめ

テントと
ともに
海上に
浮かびあがり

ふぶきの風に乗って
ヒュルルルル
滝母岳に向かった
フフ こんどこそスダ■の山かな
おい 石像の中には何が入っていたんだ?
中にはたくさんの
卵が入っていたよ
ああ
卵
それは針透草の種の栄養光の卵だったのさ
たちは冬が来るたび卵をジャングルにはこんだ……
年月は流れいくつもの冬がすぎ……
針透草は繁殖して行ったが

流止液を
飲んだおれの体は

少しも
年老いて
行かなかった
……

ただ……
地上に長い間いると
息が苦しくなり

体中に
はん点が
出るよう
になって
しまった

そうか
……
それで

さっき
海水の中に
いたのか…

去年の冬
……最後の
卵をはこび

そして
この冬

針透草と
ともに

アタゴオルに
やって来たのさ

これが針透草なのか

王の財宝を見せてやろう

団長 準備ができました

よし

さあ……おまえたちに

あんな所に回転球がついてるぜ

葉魔の奴…あのカギどうする気だろう

フフッ あそこを開けても中はカラッポだぜ

ちらっ

ブーン

ザーッ

回転球から何か出てるぜ

ザザーッ

ザーッ

要魔たちの体が……

溶けて行くぞ

溶けた体があの管を通って

針透器の中に入って行くぜ

ダダダッ

あっヒゲ丸

助けにきましたっ

みんな溶けて……

針透草の中に入ってしまった……

ぐ〜っ

王の財宝っていったい何なのだ

やがて日は沈み

ひえるなあ……

寒くなって来たしそうするか……

なあ……一度家に帰ろうぜ

あ

あそこに

よっ葉魔たちが草にくっついてるぜ

フッフッフッ

おどろいたかね

これが王の財宝なのか

草の葉と合体することが……!

おまえたちの旅の……おまえたちの夢だったのか

そうだ……

この世界で一番すばらしい陶酔感

果てしなく続く光の陶酔感を得るために

体を植物化することが……

王の財宝だったのさ

果てしなく続く
光の陶酔感
やがて陽がのぼって来た
オオッ

さあ……みんな
行こう
スッ

光の海へ!!

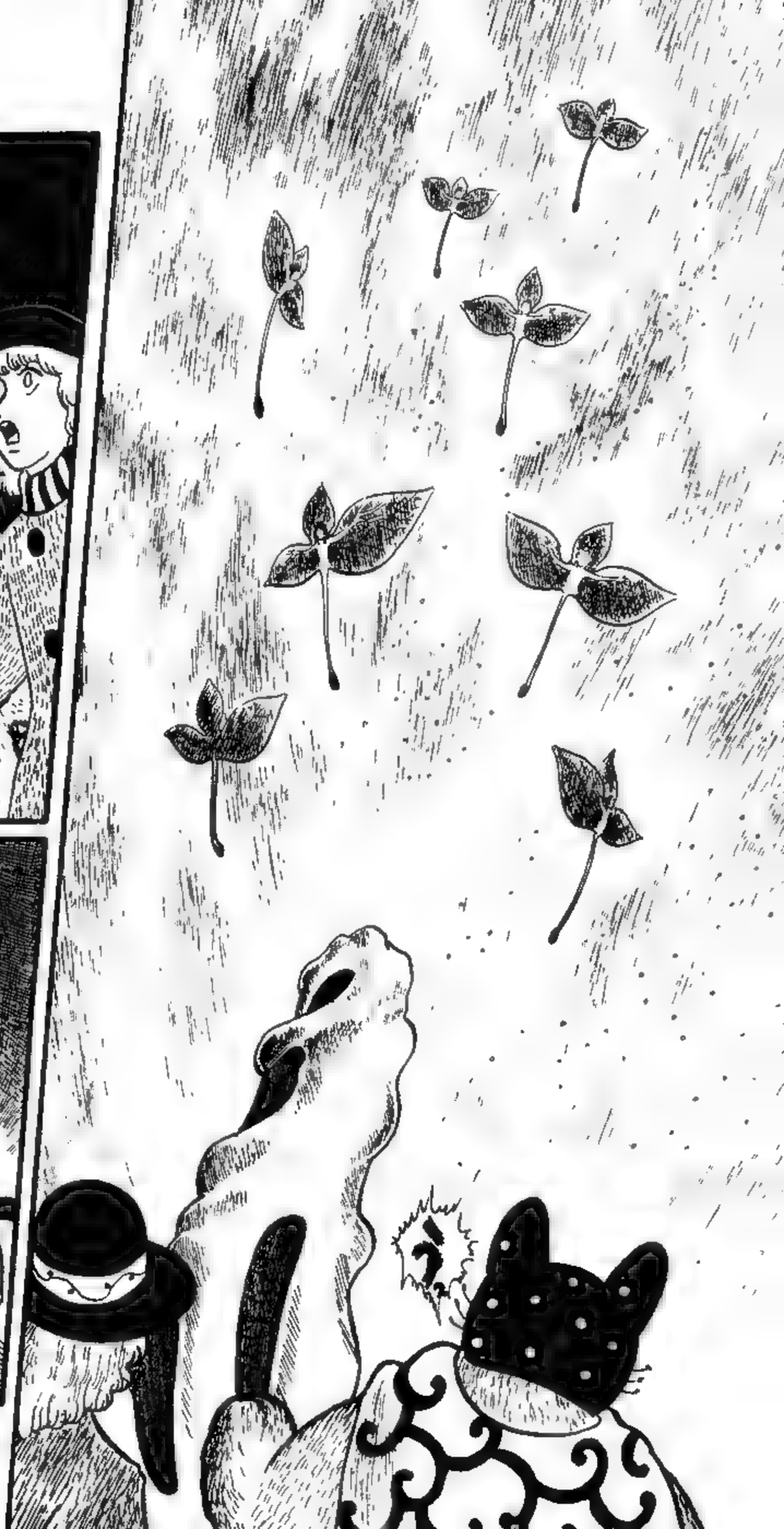
葉魔たちが飛んで行くぜ

あの草は空を飛べるのか!!

薬魔たち……これからどこへ行くんだろう

たぶん……

風の流れにそって……旅して行くんだ……

果てしなく続く……

光の陶酔の旅

こちらはゴロニャオ…

ぬかの目博士の家

ねえ博士

まだかな?

もう少しだよ……

ヒデヨシ その丸い筒をよこしてくれ

おう

しかし おまえにこれを貸すのは心配だなあ……

こちらはゴロニャオ…

でもネズミトランプで勝ったら貸してくれるって

約束したでしょう

さあ

完成だよ

そうだなあ……

しかたがないな……

そうよっ

にやっほう

うふふえへへえへ♪

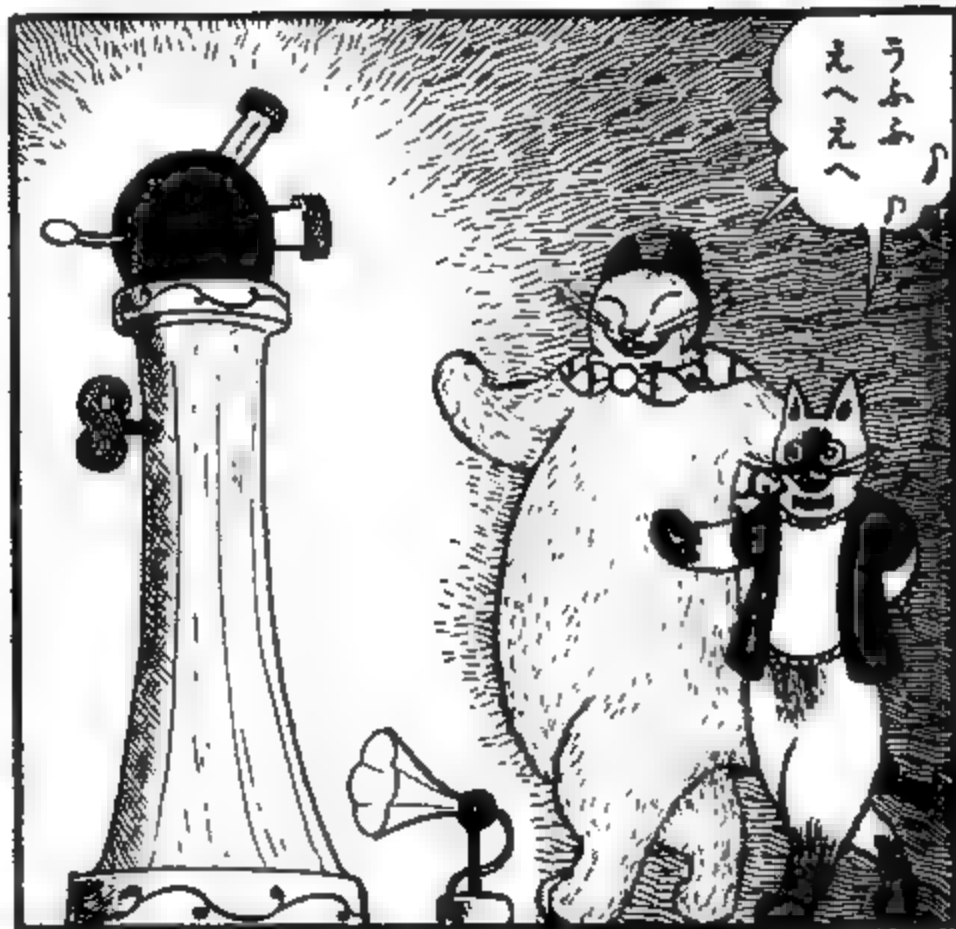
にゃん

にゃん

ヒゲ丸あそこにしよう

ハイッ

あれ

やあ テンプラ君

こんにちは 唐あげ丸さん

きょうは休みなんですか お店のほうは

はい……

それで……ブク松と散歩に来たんですよ

ブク松…？

…彼は少し体が弱いので

じょうぶにさせようと思いまして

ガサ ガサ

…う

ハァ ハァ

こちらはゴロニャオ…

いい天気ですねぇ

ええ ほんとに…

もう夏ですね

………えーっ練習!!

ギクッ

えー練習

えーっ練習!!

あっ

これは…いったい

えーっ練習

あっ

えーっ練習

えーっ練習

えー練習

えー練習

いったいどうしたんだ?

森中の花から声がして来るんだよ

うるさいなあ

えーっ練習

ん!?

あれっこの声は……

あああ……

あいつだ

えーっ練習

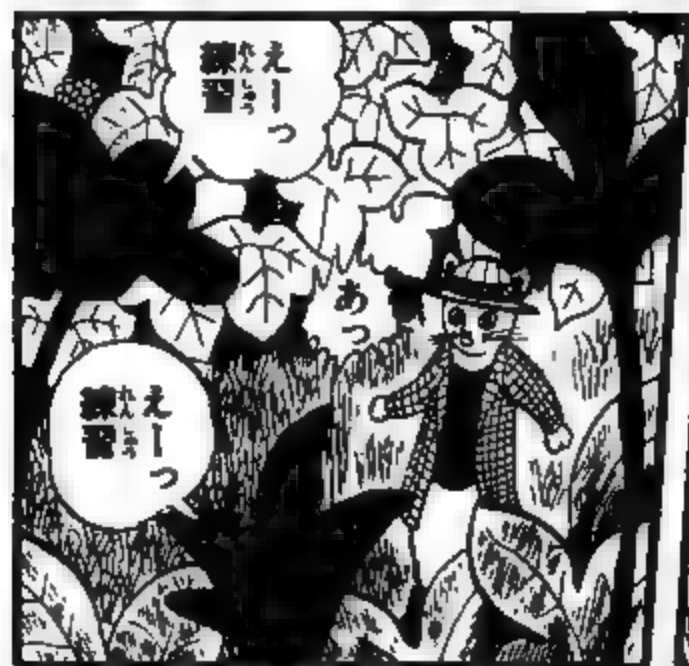
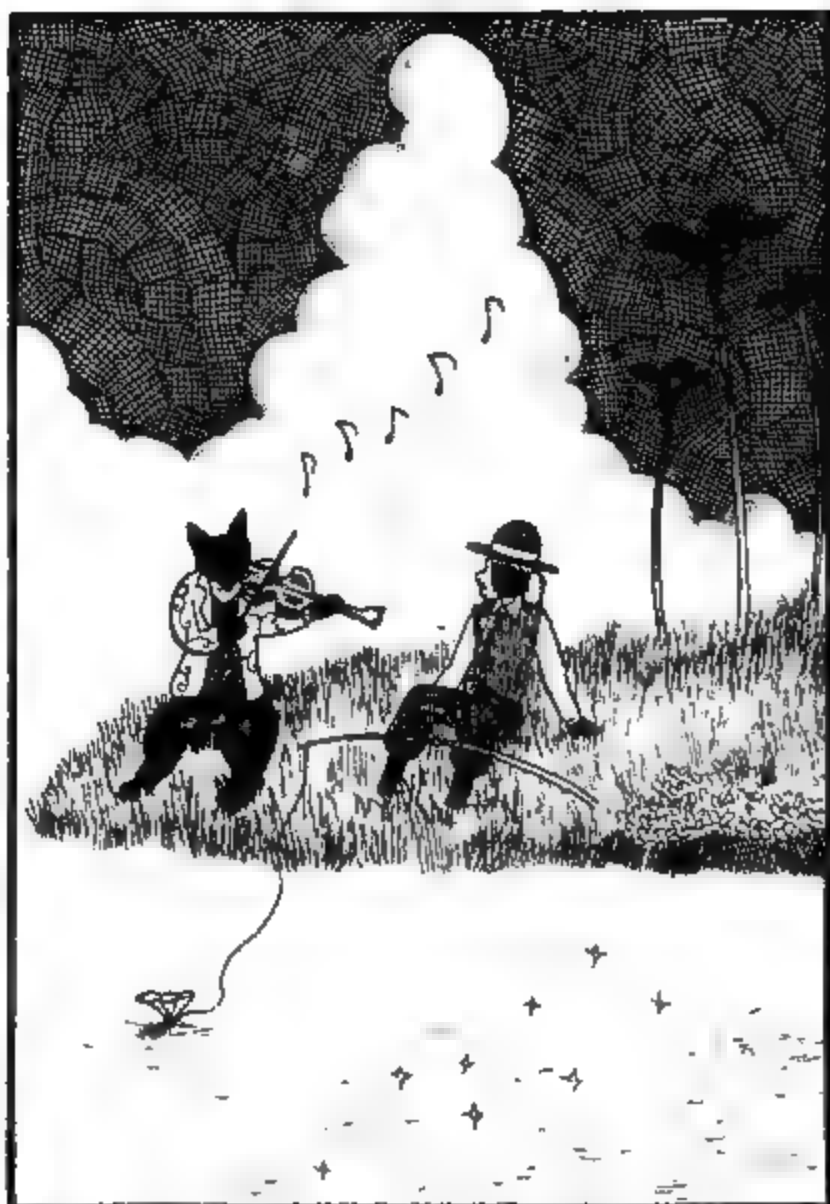
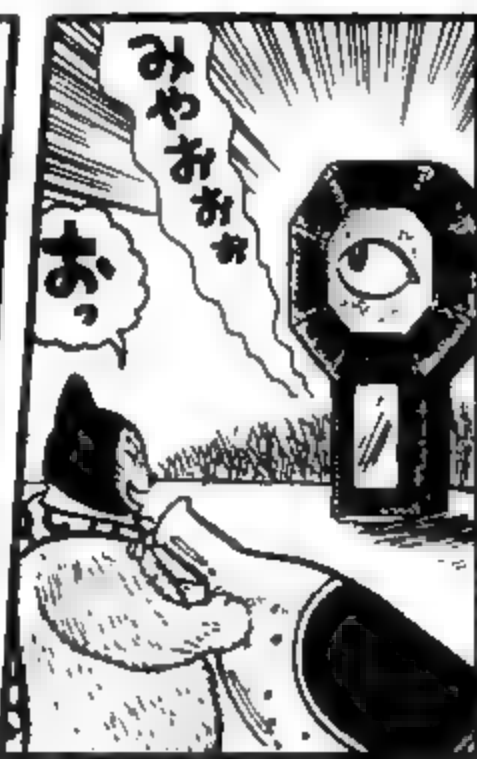
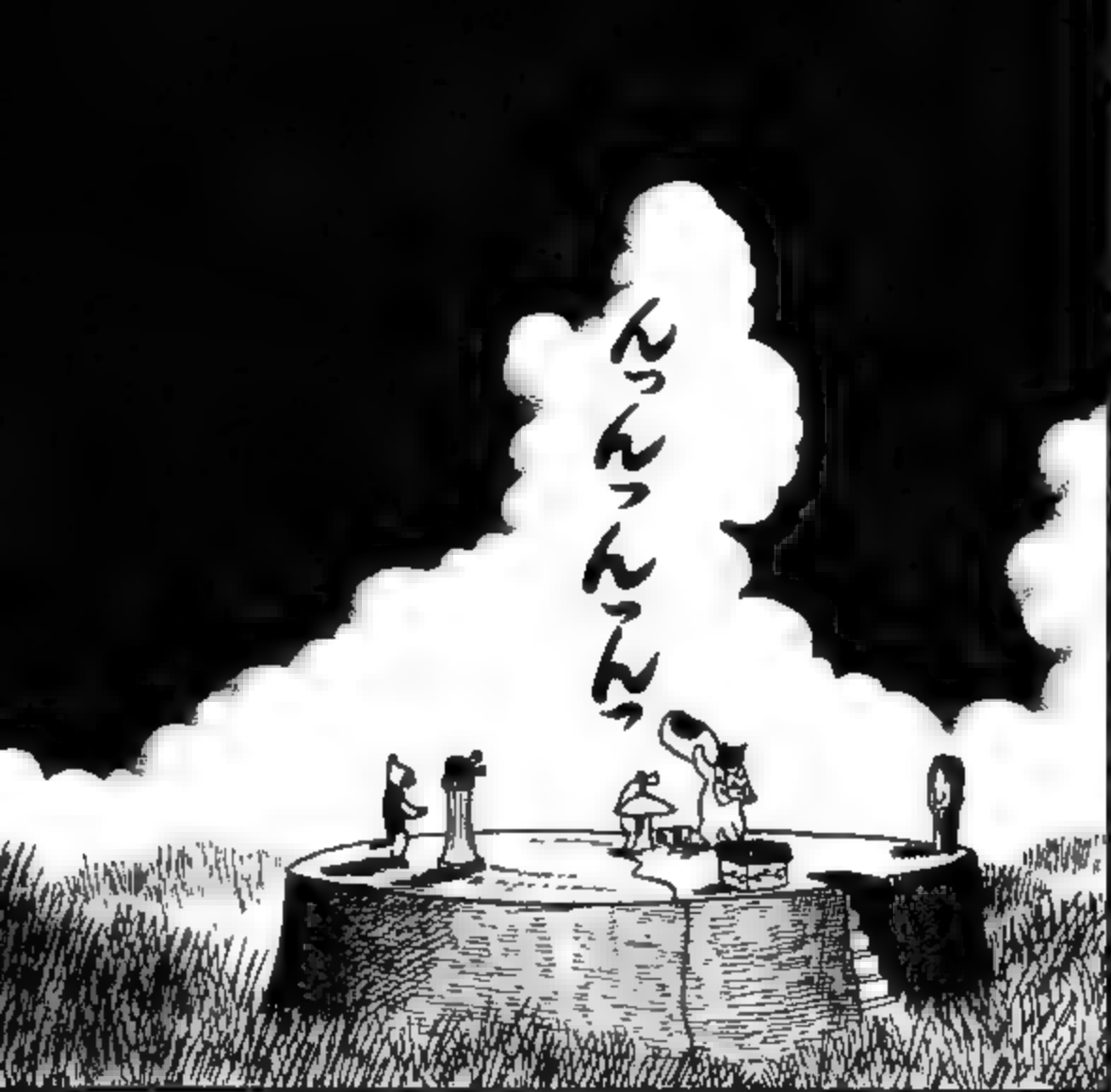
プチン

ようし成功だ

いよいよですね

ベタベタ

フフッ早くお昼にならないかなあ…

うーむ
どうも緊張するなあ……
かるく一ぱいひっかけて…と
ぐっ
んっんっんっんっ
みゃおおぉ
おっ
ようしお昼だ
ヒデ丸ネジをまけ
ハイ
ぐりぐりぐりぐり
5
4
3
あいつ何を始める気なんだろう
1
2
ゴロニャオ
うっ
ピン

アタゴオルの森のみなさんコンニチハ

こちらはゴロニャオ放送局です

ああ

ゴロニャオ放送局だってえっ
雲の放送局だ……
ではまず
「きのうの出来事」から……
きのうの夜オクワ酒屋でぬかの目博士は
ヒデヨシ君とネズミトランプ十回勝負を行い
十回とも負けました
これで「きのうの出来事」を終わります
ゴロニャンニャン
なんだあれは…
つづいて昼の音楽を
曲は
「正調つめとぎ唄」です
ニャンニャンつめつめ
ニャンニャンとぎとぎ

オシリをふりふりモコモコつめとぎ
イスでも壁でもつめつめとぎとぎ
うるさいなあ
ニャンニャンつめつめ
ようパンツ
おうテンプラ
「正調つめとぎ唄」でした
さてさてみなさんおまちかね
「ヒデヨシ体操の時間」です
心の中に悩みがモチのようにふくらんで来た時
腹いっぱい空気をすいこみながら両手をあげ
よおしといいながら片足を出し両手をふりおろします
よおしっ
ドスッ

これを5、6回やれば

心の悩みなんかいっぺんでふきとんでしまいますよ

あの雲もふきとんでしまえばいいのに

しかしどうしてあいつが雲にうつってるんだろう

うん……とにかく見つけ出さないと…

うるさくてこまるよ

あれヒデ丸がうつってるぜ

あら!!

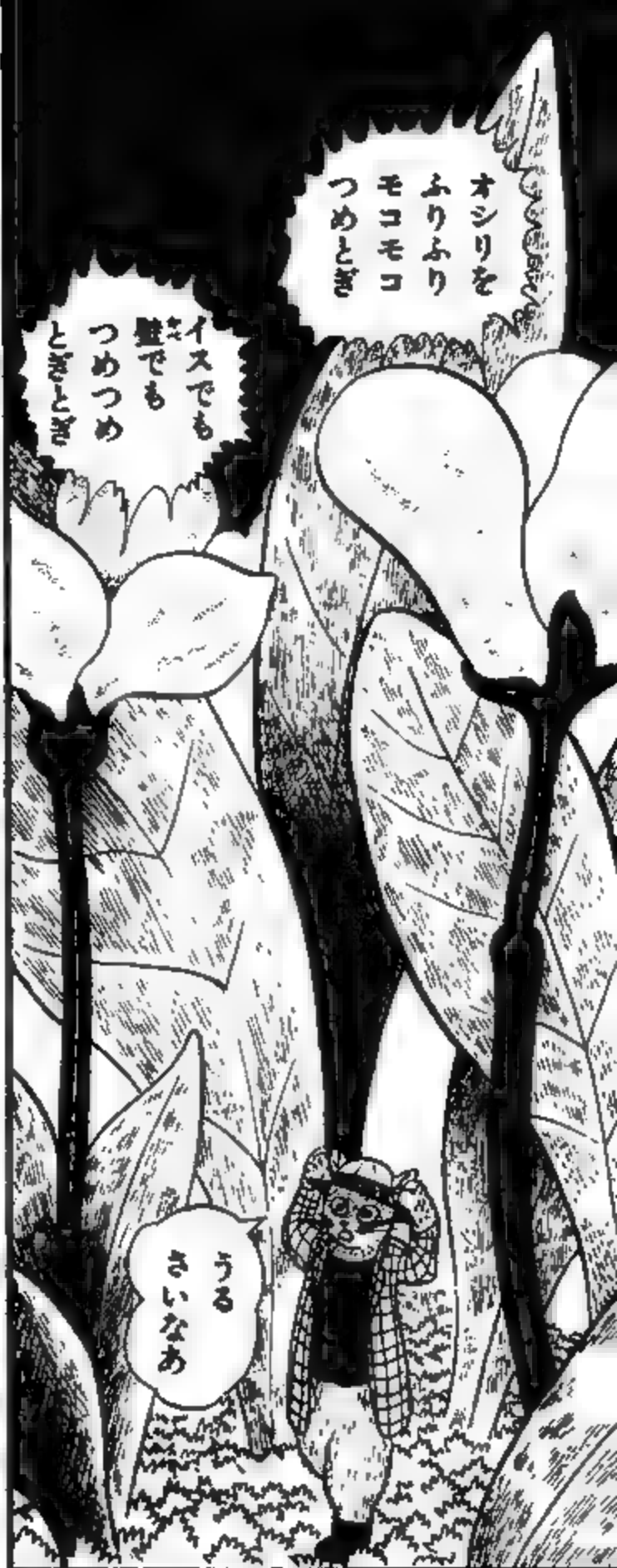
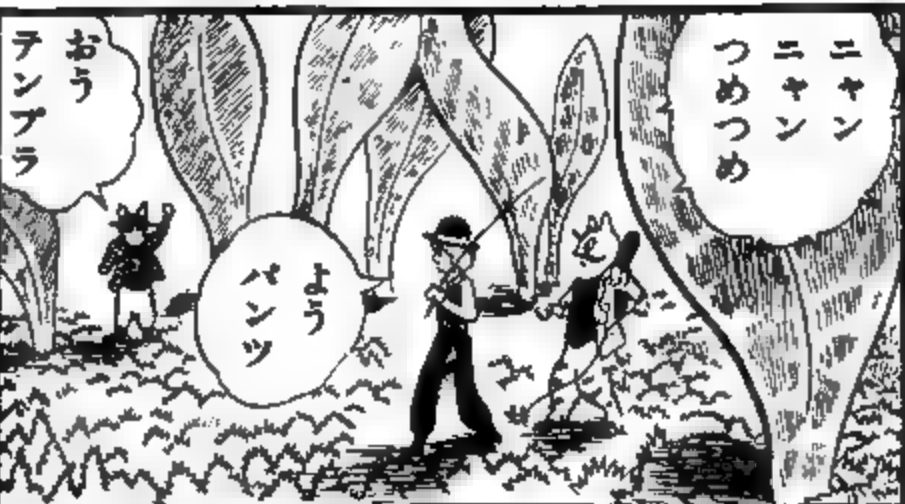
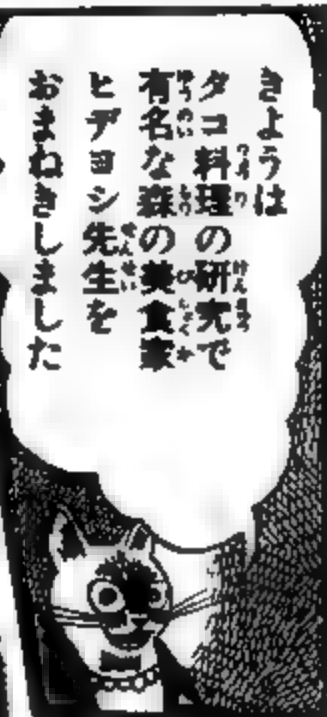
森のみなさんたのしいお料理の時間です

きょうはタコ料理の研究で有名な森の美食家ヒデヨシ先生をおまねきしました

ようこそ

こんにちは

先生きょうはどんな料理を?

ハイ　家庭でできるオイシイ酢ダコのミソ汁と

季節ですので……カタツムリのツメあえを作りましょう

まず

よおくのばしたツメを

こうやってかんで……とります

次につぶしたカタツムリをよくかきまぜて

トロトロになったらできあがり

気持ちわるいなあ……

「たのしいお料理」に続きましては

まちにまった「昼さがりのメロディ」の時間がやってまいりました

オヤッ？早くも森のみなさんからおたよりがとどいていますよ

スーッ

ゴロニャオ放送局……開局おめでとうございます

こちらはゴロニャオ…

ぜひ一曲いつものやつを
聞かせて下さい
これから毎日楽しみ
にしています
がんばって下さいね
ヒデヨシ君へ
…………

あなたの
テンプラ・
パンツより

ありが
とう

……
……

森のみなさんの
おたよりを
まっています

あて先は
すずしか原
ルリの木かぶの上
ゴロニャオ放送局です

それでは
ふたりの
ために心を
こめて歌います

ルリの木かぶの
上が…
ようし行こう

ざろんがん
わでんろ

ざっつ
りーっ
つよどお

ああ
ブク松
しっかり

どうし
ました?

あしざろーぴほー
カニは音に敏感ですから
下品な音楽を聞くと失神するんですよ
りみぴゃあ
ブク松
りみっつう よどおう
きまったな……
しかし…どうもあがってしまうなあ……
ようし
全部飲んでしまおう……
フーッ
だいじょうぶですか そんなに飲んで
平気だよう さあ次の曲を行こう

ちとせえやまあ かああらなあっ

こおかあのたねっ まいたよおおっ

たんゆ らいだん ろーっ

あれ?

放送が止まったぞ

さすがにつかれて来たのかな

それじゃヒゲ丸 行って来るよ ヒクッ

気をつけて

ヒクッ……

うーっ酔って来たなあ

くそ……こんどこそ

どなたですか
ゴロニャオ放送局の者ですが
放送料金をいただきに…ヒック
ああっ おまえだなっ
かってにさわいでそんなもんだれがはらうかっ!!
コラ……
放送局にたてつくとおそろしいぞ
い〜からあっちへ行け
ぺっ
ズズズッ
……ヒック
……くそ
あ 来たぜ
やあ
サッ
やあじゃないよまったく
あれフーコも来たのか…ヒック
ええ……ちょっと……
放送代はいくら集まりました?
う

ぜんぜんダメだったのよ
……ヒック

ねえ

みんなでおしばいをやらない？

あれフーコちゃん放送を止めるために来たんでしょう

ほんとうは雲にうつってみたくて来たのよ

どうせ放送するならみんなのよろこぶようなものをやらなくちゃ

うーむおもしろい話ないかな…

ねえ…

オレの作った話をやらないか？

ニャンニャンみなさんおまちかね

昼さがりのおしばいの時間ですよ

姫の命がおしければ

酢ダコの山をおとなしくわたせっ

うーむ
酢ダコは国の宝物…しかし

姫の命は何ものにも代えがたい

ああ…
こんな時あの方さえ生きていたら………

ええいさっさとわたせ

わたさぬとこうだぞ

キャーッ
助けて

まていっ

ああ
きさまは

こちらはゴロニャオ…

姫助けに
来たぞ
…ヒクッ

ああっ
ヒデヨシ
ズキン様っ

やっ

そこだ

行けっ

ガキッ

て

ダアッ

うあ
ああう

ヒ…姫……ヒクッ

ああ
ズキン様

ありがとう
ズキンどの

なんの

いや

酢ダコを
下さい…ヒクッ

ごほうびに
姫をおよめに
あげよう

めでたし
めでたし
フェーーッ
フラフラ
ああ
ヒデヨシ
バタッ
ねむって
しまったぜ
ぐーっぐーっ
酒飲んで
あんまり
動きまわる
からだよ…
ああ……
もう夕ぐれだ
夕ぐれの
協奏曲と
ともに
森の
みなさまと
お別れいたします
アタゴオルの
森の
みなさま……

ごきげんよう!!

おしまい

ボデ腹（ばら）のサンバ

ハアハ
あんなにきつくしばっておいたのに
ひきちぎって行くとは思わなかったっ

桃色の三日月が……今年は今夜で8回目だなあ…
ガサガサ
あれっ
ようヒゲ丸どこへ行くんだい?
あっテンプラ君!!
どうしたんだそんなにあわてて……
親方を見ませんでしたか?
見なかったよ……
唐あげ丸さんどうかしたのかい?
ええっ
しばっておいたナワをかみ切ってにげ出したんです
早く見つけないとたいへんです
ギイ〜ッ

ギャ〜〜ッ

キェッへへッ

みぃ〜っ

三日月が……私を……よんでいる……

ハイハイ……今そちらへまいります

みやおぉぉぉ

……うるさい奴だ……

せ…せっかん……してやろう

ガシャーン
なんの音でしょう?
行ってみよう
ガーガーン
ホホホ…
あっ いたっ
バリバリバリ
猫の目時計をこわしているぞっ
そおくっと行って
ホホホ
やっ
鷹あげ丸さん いったいどうしたんだ?

親方は桃色の三日月の夜が来ると決まってこうなるのです

そのたびにナワでしばっているのですが……

そうか……ヒデ丸もたいへんだね

あ〜〜あ

猫の目時計がめちゃめちゃだ…

ミーン

ミーーン

ミーーッ

ごめんください

サッ

いらっしゃいませ

ヒョウタン岩の所の猫の目時計をこわしてしまったので

新しいのを買いたいのですが

お客さん 今 街道用の 時計は品切れ ですが いそいで作ります ので
10日ほど待って いただけますか？
はい
よろしく おねがいします
だんなさん 時計を作るんですか!! がんばって下さいね
いや
わしはもう 体力がない
じゃ おれが 作るん ですか
いや… ヒジリ ヤマ
おまえじゃ ムリだ……
それじゃ いったいだれが？
そいつを これから 森に行って さがすん だよ
ボンボッコボーンボッ

ボン
ボコ

あれ
時計屋のおやじがボンゴなんかたたいて

どうしたんだろう

どうです
あの少年を特訓してみては

ボン
ボン

だめだ
彼の体はこのリズムに少しも反応していない…

ボボーン

うー

……
腹へったなあ……

ボンボコ
ボンボコ

ボーン
ボコ
うっ
ボコボン
いい感じ
ボンボン

るんるん
ボンボコ
プク
プッ
オッ
オオッ
ボボボーン
おい ヒジリヤマ 見つけたぞ
あいつだ

えっだんなさん あれはいけません
あれはアタゴオルの問題児です
ボボーン
なにを言うか
ボボ
見たまえ あの腹を
このリズムにたくみに反応してゆれるあのボデ腹を
ボコボン
ボンボコ
プクン
プクン

あれなら作れるぞ

君ちょっと

なあにィ

テンプラ君きのうはどうもすいません……

いいえそんなことないですよ

さっそく時計屋へ行って新しいのをたのんで来ました

そうですか

ボーン
ボーン

おやっ

ボンボン

ガチャ

イエッ
ボーン
ボッ
あっ ヒデヨシっ
なんだ そのかっこうは
お仕事なのよォ
ボボーン
仕事？
土人の楽団にでも入ったのか？
いーや 時計屋の仕事だよ
ボボンッ
時計屋？
おう!! 朝から次の日の朝まで休みなくボンゴをたたくんだよ
ごほうびになんと紅まぐろ一匹もらえるんだぜ

えっ
紅まぐろっ
すごい
なあぁ
パンツ……
紅まぐろって魚は
そんなにうまい
のかい？
そりゃあおれたち
猫の舌にとっちゃあ
たまんないよ
しかし
ヒデヨシ
朝から
次の朝まで休みなく
たたきつづけるなんて
できるのか？
フッフッ
フッ
おれは
ヒデヨシ
だぜ
ちょっと
ムキになれば
かんたんな
のよっ
オオ
そう
そう
時計屋の
ヒジリヤマがね
パンツとチンプラに
用事があるんだってさ
いったい
なんだ
ろう

これが工場なんですか!?
はい 長々とくねって行く道に
これがうちの時計工場です

バリーン

時計の部品をふまないように注意して歩いて下さいね

……どうしてこんなに部品をバラまいておくんだろう……

いいかい夜が明けたらたたきはじめるんだ

オウ

気をつけなければならないのはリズムだ

リズムが狂うと時計も狂ってしまう

一定のリズムでたたき続けるんだよ

そして明日の朝陽がのぼって来たら

オウ紅まぐろ

このマイクに向かって

「みやおおお」っとなくんだ

これでできあがりだよ

みやおおぉぉぉ

君ちょっとないてみて下さい

オウ

みやおおぉぉ

なかなかけっこうです

その声が猫の目時計の時報になります

ヒジリヤマくんおれたちに用事ってなんだい？

だんなさんとおれはこれから紅まぐろを買いに行くんだよ

それでその間にヒデヨシが

みやおおぉぉ

さぼったり
途中で眠ったり
しないように
見はっていて
ほしいんだ

そうか……
いいよ

そして
朝日が
のぼって
きた

よーし
始めてくれっ

おう
紅まぐろっ

ボーボコ

ボンボコボンボコボン

ミーンミーン

ボンボコッ

ほら　ヒデヨシ

ボッ

おう
紅まぐろ

ボーンボコボン
ボン
ボン
あいつよく続くなあ
ああホントに
ボンボコボンボコ
しかし……
どうやって時計を作るんだろうね
おれ時計屋のおやじにそれを聞いてみたんだよ
えっ
それでなんて言った!?
おやじはニヤニヤしながらね
知りたければヒデヨシをしっかり見はってることだねだとさ……
チェッ
早く知りたいなあ…
うぇへへへ
ボコ
ボン

イエッ
紅まぐろ
ボボン
しかし
ヒデヨシの奴
…すごい
体力だなあ
どう
した？
！

そうか……

……時計を作るのは……

ギギ
ギリ ギリ
カチャカチャ
ギシ ギシ
この木だったのか!!
ザワ
ザワ ザワ

ボンゴのリズムにあわせて木が動いてるぜっ

ギリギリ

サクサク

ボンボコ ボンボコ

ギリギリ

うう…

眠いなあっ

がんばれ紅まぐろ

おういえっ

ホラ もう朝日がのぼって来るよ

うへへへへっ

もうすぐ終わりだぜえ

泣き声を入れなくてはっ

おっとそうだ

あれ……

おっ!! 思い出したぞっ

いやー 本当にありがとう

これ 約束のお礼です

キャーッ 紅まぐろだ

しかし ヒデヨシの奴よく やったよなあ

にゃん にゃん つめつめ♪
にゃん にゃん とぎとぎ
にゃん

ほんとに 丸一日 いっしょうけんめいだったもの

パンツ それから テンプラ君 どうも ありがとう

いいえ

しかし
この時計は
ちゃんと
動いてますか

ハイ
正確ですよ

これなら
りっぱに
うちの店で
通用します

ヒデヨシ君
また
時計を作る時は
よろしく

オウッ
紅まぐろ

……もう
7時か…

ピ

おっ…
時報が
なるぞっ

ふっふっふっふっ

ふっふっふっふっ

おしまい

水晶箱（すいしょうばこ）のくねくね

アタゴオル風鈴森

ガサ
ガサ

おまえ本当に見たのか？

ニャンニャン

たしかにこのあたりで見たのよォ

ガサガサ

……ようしもう少しさがしてみよう

オッ

あったぜテンプラ

ホラ……こいつさ

うう!!

な!!

動いてるだろう

ホントだ……

水晶の中でなにかが動いてる……

水晶にとじこめられても生きているなんて……

こんなの見るのはじめてだよ

よお テンプラ この紋様はなにかね?

これは紋様じゃないよ
昔の文字だ……
なんて書いてあるのかしら？
……くねくね……
「くねくね」？
ああ……くねくね
そう書いてあるよ
あれ
きょうのお月様…変な色してるぜ
あ!!
桃色の三日月だ

かしこまりました…お客様

短かく……切るんですね…

シュルルッ

短かめ――っ

ズドーン

ズズ

キエッヘッヘッ

親方――っ

なあ……
くねくねって言葉
聞いたことない？

くね
くね？

……
しら
ないわ

くねくねって
水晶箱の
くねくねの
ことかい？

あれっ
オクワさん
知ってるん
ですか？

おばあちゃんが……
話してくれた
昔話の中に

たしか
そういうのが
あったよ

昔話？

ああ
……

くねくねという
奴がね……
悪い魔法使いに
だまされて

水晶にとじこめ
られてしまう
かわいそうな
話だったなあ
……

そうか
あの青い奴が
くねくねだったのか

くねくねを助けてやろうぜ

そうだな

そうしてごほうびに紅まぐろを買ってもらおう!!

なんだそれが目あてか…

あれっくねくねって昔話なんだろう

いーやタクマ

風鈴森の中でねくねくねの入った水晶を見つけたんのよォ

へーっ

くねくねの話は本当だったのか……

ニャンニャンつめつめ

フフッ明日ぬかの目博士の所に行って水晶を溶かす薬をもらおう

あれ

フーム

ミーーン

ミーーン

ミーッ

ここに来る途中によ

おれに少し似てる奴と会ったぜ

オッ

あがりだ

チョーッ

うわーっ

フーン

もう1回やろうぜえ

いらっしゃい

ようおやじ さばを3匹くれ

はいよっ

ぺろっ

あっ

ドロボーッ

こらヒデヨシ

まてーっ

おうパンツ ひさしぶりだねえ

なに とぼけてんだよ

どうしたんだよパンツ？

ヒデヨシがね さっき魚屋からマグロをかっぱらったんだよ

あれ…… ヒデヨシなら昼間からずうっとここでトランプしていたぜ

えっ…… 本当か？

本当だよ

…そうか ……しかし変だなあ

まてーっ

あれ
ダダダッ
うっ
あららら
まてーっ
とうとう9匹もぬすまれたのか……
ミーン
ミーン
ミーーーッ

連続マグロどろぼう

9匹

この猫をつかまえた方には
ひと月分のマグロのさしみを
さしあげます
アタゴオル魚屋連合

くっそオ

どろぼうめえっ

おれに罪をひっかぶせようったって
そーはいかないぜっ

こいつはおれたちの手でつかまえてやろうぜ

オウ

……しかし熱いなあ

ハァハァ

ソー

わっ

……いったいどうしたの

森を歩いてるとみんなから変な目で見られるから

変装したのよ

どう？わからないでしょ!!
よけい目だつわよ
そうかしら
あれ 磨あげ丸さんいったいどうしたんですか
あっ これは…
親方は桃色三日月の夜に風鈴森で猫花火をドカンドカンやって
ケガをしたのです
森のみなさんにケガはありませんでしたか
水晶を一つぶちこわしました
えっ 水晶？
はいその中から青いかたまりが出てきましたよ
くねくねだ
ミーン ミーン

ミーンミーン

しかし どろぼうは ここに来るかなあ

この附近には 小魚をまいて おいたんだ

必ずここに 来るさ

ハッ

ハクション

どうしたんだ

きのうから カゼ気味 なんだよ

シッ

ガサ ガサ

ガサッ

ヘッヘッヘッ

ハクション

ギクッ

くそっ

ダッ

まてこのやろ
ブチのめしてやるぜ
ぺっ
あ
しまった
食われてしまってる
くそっ
すばしっこい奴だ
それから一時間程して……
おーい
つかまえたぞーっ

さあ おまえの正体を みんなに見せな

ハイ

あっ

くねくねだ

フフフ

こいつは他人にばけて悪さばかりしていたので

良い魔法使いにつかまって水晶にとじこめられたんだというぜ

昔話とずいぶん事実がちがうなあ…

こいつが9匹も食った奴かあ

9匹？

さあ飲みなよ

え？

なんだよそれ？

解毒剤だよ

おまえさっきマグロを食べただろう

あれにはフグの毒がまぜてあったのさ

おれは食ってないよ

えっ？

おれが食ったのは

最初の三匹だけだよ

うっ

おしまい

汗（あせ）っかきかきかき氷（ごおり）

ブツ ブツ
ようテンプラ……読書かい？
やあパンツ
なにを読んでるんだい？
あんまり暑いから……これを読んでるんだけど……

汗っかきかきかき氷

スミレ博士著

「暑い体を涼しくする呪文!!」……か

フーン

パラ
パラ

でも
いくらやっても
ぜんぜん涼しく
ならないんだよ

あれ

どうした?

チンプラ
ここ……

ん?

スミレ博士
アタゴオル在住の呪文研究家
そしてタコの研究家でもある

なお 博士は左手が
不自由なので 文章は
当社で代筆しました
―カタツムリ社―

スミレ博士だ
なんて…

これは
ヒデヨシじゃ
ないか!!

……手が不自由だ
とか言って字が
書けないことを
ごまかしたん
だな……

あああああ

ああ
ああ

暑いよオオ

暑いよオ

あれ
うわさをすれば

おおテンプラ
助けてくれえ

どう
したんだよ

お日様が
暑いんだ
よオオ

そう
たいへんだ
ねえ

……それ買ったのか……

スミレ博士の呪文をとなえてみたら？

うっ

お金かえすから助けてくれよ

金なんかいらないよ

しかし……なんだ？その汗は

あう……ああ

猫正宗とマタタビビールを飲んだら

あんまり暑いから汗が止まらなくなったんだよう……ああ

なんとか助けてくれよォ うう暑い!!

かき氷はどうだい？

かき氷か……

そういえば今年はまだ食ってなかったな

ヒョウタン森のかき氷屋に行ってみなよ

あの森にそんな店あるのかい？

あるよ……オレのおやじの店が……
パンツのおやじ？
うん……オレはさっきそこで食べて来たんだ
行くんなら地図を書くよ
フフッ
行ってみよう
ハアハア
カツラかき氷屋か……

あれだな
なんだ あの 謎のヒョウタン!!
……透明なヒョウタンだ……
こんにちはっ
かき氷をたのむ
あっ いらっしゃい ちょっとまっててね
ゴシゴシ

どうも
おまたせ

おやじさん今ぞうきんがけしていたやつはなんですか?

あれかい?

あれは「星めがね」だよ

わしは星が大好きでねえ

夜が来るとあれで一晩中夜空をながめているんだよ

さあて…どの氷にします

カツラかき氷屋のメニュー

南半球リンゴ
北半球ブドウ
赤道イチゴ
ねだん銅貨2枚

ぼくは…南…半球リンゴ

はいよっ

そちらさんは?

オレは

なっとう

なっとう

そんなのはありませんよ

そうか………

それじゃ…ブドウにしてくれ
はいよ
南半球リンゴ…か
どんな味かなあ……
ようとっつあん オレたち パンツの友だちなのよ
そうかい
それじゃ氷をいっぱい入れてあげようかな
ニャコ
ニャコ
ニャコ
うーっ暑いいっ
ようしできたっ
では……部屋を
暗くして…と
どうして……かき氷を食うのに…部屋を暗くするんだろう
もうすぐですよ

あれっ
らっ
スッ
ピタッ
ささっどうぞ
うへへへへっ
いただきます
ショコショコ
ショコショコ
パクッ
うう〜っ
腹にしみるぜえ…

ん!!
体が急に涼しくなって来たぞ
ツーッ
あ
ら
えーっ
コホン
あれが

まきひげ座

その上には
黒竜座

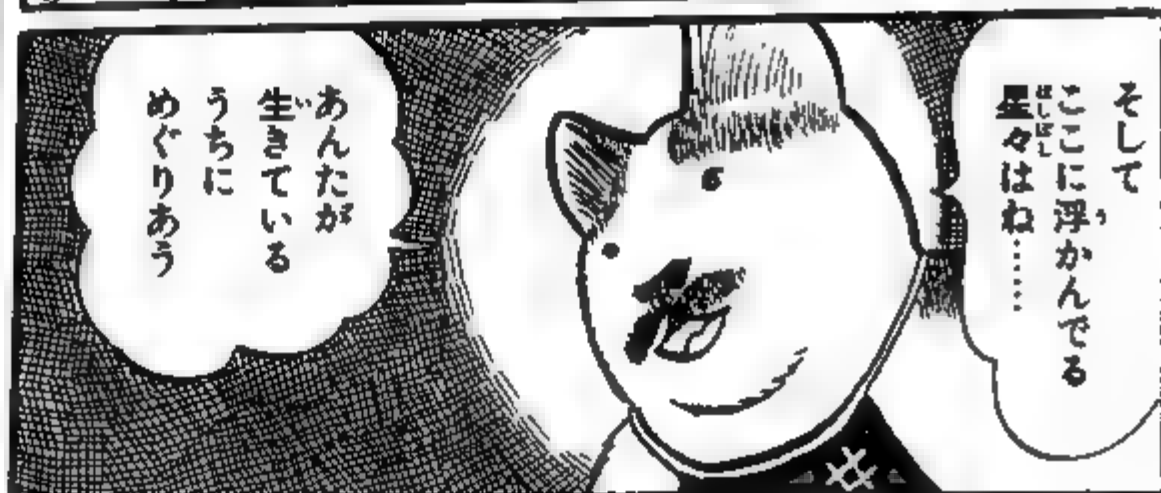
おやじさん この部屋は……

はい!! わしの店は

プラネタリウム かき氷屋なのです

ハーッ

フフッ

そのグラスには 星々の位置が きざんで あるんだ

そして ここに浮かんでる 星々はね……

あんたが 生きている うちに めぐりあう

すばらしい出あいの数なんだよ

ホラ

あれがヒョウタン座だよ

そしてその左には……

やがてヒョウタン森に夜が来ました

それじゃまたね

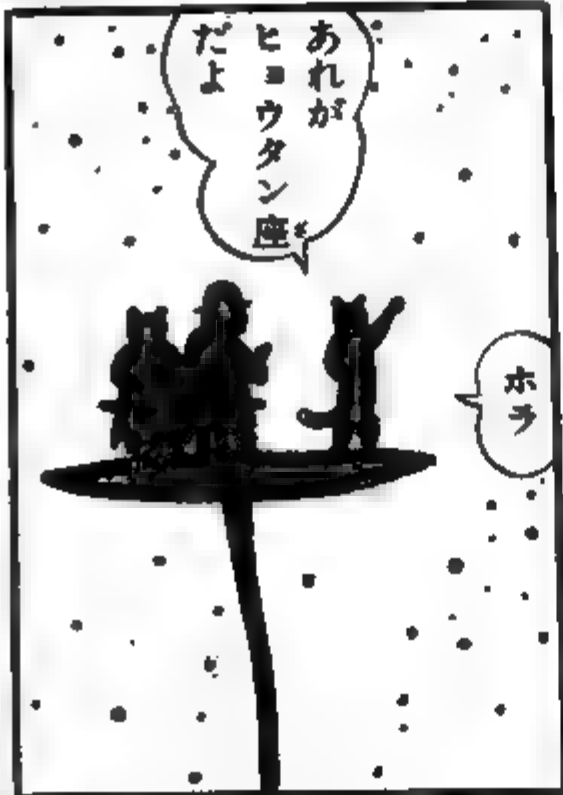
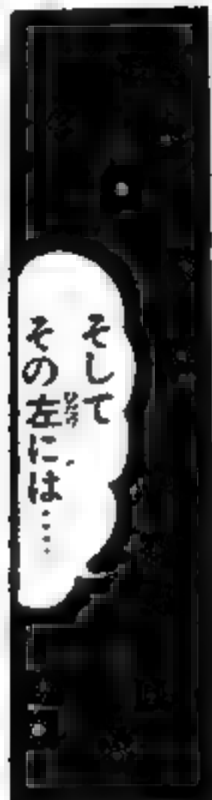
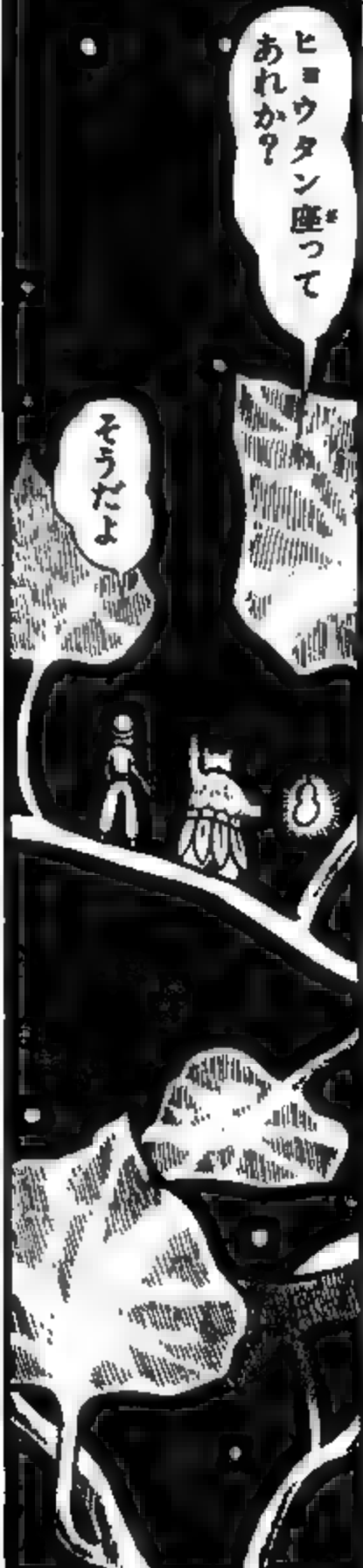
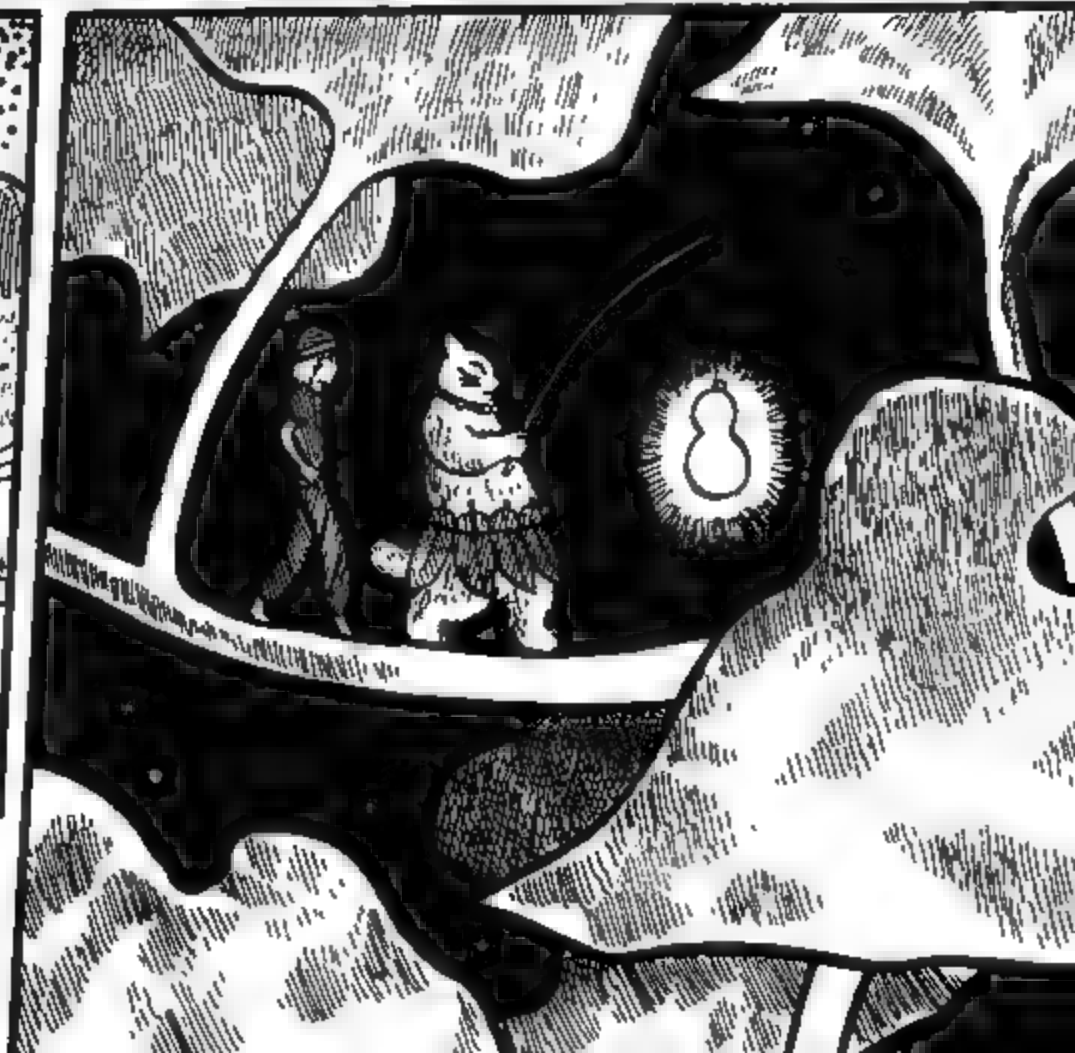
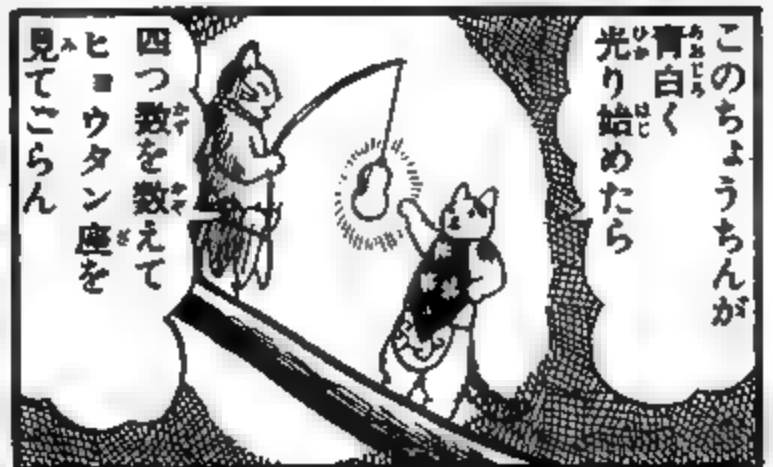
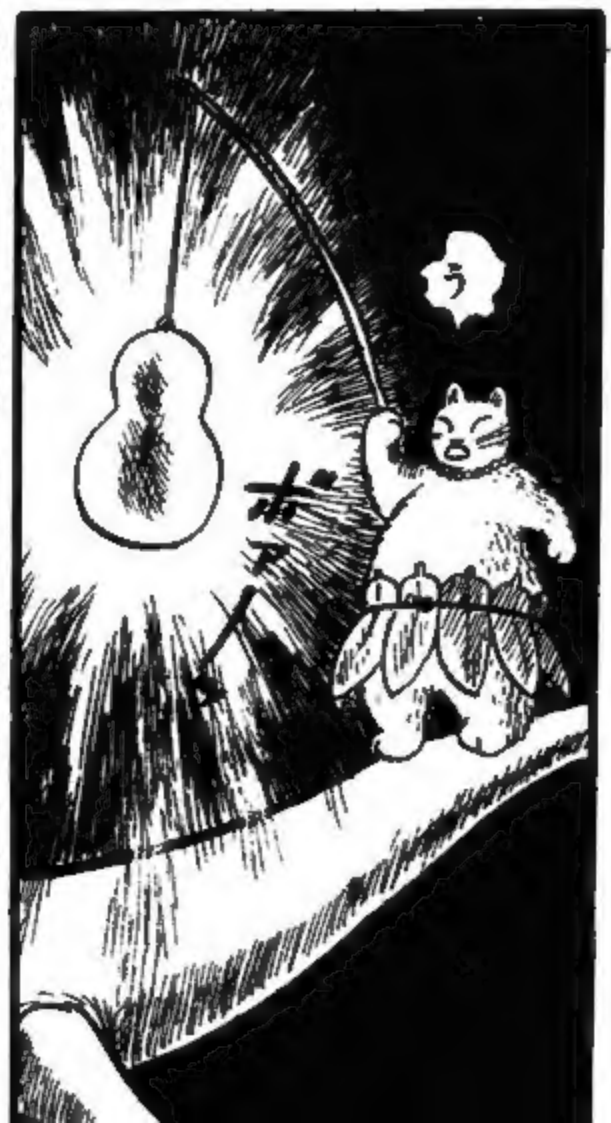
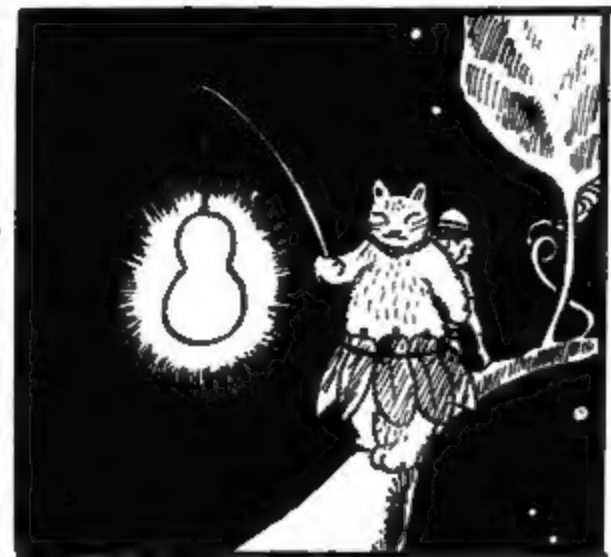
どうもごちそうさん

わ
ズリッ
だいじょうぶかよ
くっ
どうしたんだい？
道が細いもんですべったのよ
そいじゃちょっとまってな
ちょうちんかしてやるよ
どうも
このちょうちんが青白く光り始めたら
四つ数を数えてヒョウタン座を見てごらん
じゃ気をつけてな
おう
ヒョウタン座ってあれか？
そうだよ
ねえ

フーム
オレにはそうは見えないなあ
なにに見える?
酒ビン
しかしかき氷うまかったなあ
体が涼しくなったよ
明日も来ようぜ
う
青白く光りだしたぜ
1
2
3
4
!

流れ星っ!!

えんど

アタゴオル物語2●おわり

【初出誌一覧】

ハサミを持ったギャンブラー……1977年「マンガ少年」12月号掲載
キララ貝でひとねむり……1978年「マンガ少年」1月号掲載
冬のサーカス団……1978年「マンガ少年」2月号掲載
こちらはゴロニャオ……1978年「マンガ少年」3月号掲載
ボデ腹のサンバ……1978年「マンガ少年」4月号掲載
水晶箱のくねくね……1978年「マンガ少年」5月号掲載
汗っかきかきかき家……1978年「マンガ少年」6月号掲載

Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL
ますむら・ひろし作品集［二］

アタゴオル物語

2 ボデ腹のサンバ

昭和62年11月30日初版発行

著者　ますむら・ひろし
©Hiroshi Masumura
発行人　喜久村　繁
装幀　羽良多平吉
発行所　株式会社朝日ソノラマ
〒104　東京都中央区銀座4丁目2番6号
第2朝日ビル
TEL(563)6021
振替　東京2－40311
印刷所　フォト印刷株式会社
製本所　光和製本株式会社
☆乱丁・落丁がありましたら、おとりかえします
ISBN4-257-90095-4